

2025年度

第63回中学生作文コンクール 入賞作品集

わたしたちの
くらしと生命保険

第63回中学生作文コンクール「わたしたちのくらしと生命保険」入賞作品集



●2026年2月発行

2025年度 第63回中学生作文コンクール入賞作品集「わたしたちのくらしと生命保険」

公益財団法人 生命保険文化センター

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 3階

Tel.03(5220)8510(代表) Fax.03(5220)9090 <https://www.jili.or.jp/>

※当作品集に掲載されている作品の著作権は、(公財)生命保険文化センターに帰属しています。
無断での転載、複製、ご使用はご遠慮ください。



(公財) 生命保険文化センター
代表理事 小原 広之

今回ご応募いただいた2万7,000近くの応募作品のうち、私自身が読んだのはほんの一部ですが、いずれも論理構成がしっかりしていて、自身の内面が的確に表現されている、優れた文章でした。

また、作品のストーリーを見ますと、自らの体験に根差したものから、自分の趣味や将来の夢をベースに想像力を膨らませたものなど、それぞれに特色がありましたし、それぞれの目線で生命保険について深く考えた跡がうかがえたと思っています。

執筆した生徒の皆様が、普段から質の高い読書をし、好奇心を旺盛に保ち、また、周囲とのコミュニケーションを大事にして育ってきたことが想像され、そのような環境を子供たちに提供し続けていらっしやったご家庭や学校の皆様方のご努力に敬意を表したいと思います。

私は最終審査に加わっておりましたが、審査員全員が熱く意見をぶつけ合う、実に充実した審議が行われました。その結果、最も多くの支持を集めた8つの作品が全国賞として表彰されることになった次第です。

受賞者の皆様、まことにおめでとうございます。

この中学生作文コンクールは、1963年に生命保険協会がはじめられた事業で、その後、生命保険文化センター

● 第63回 中学生作文コンクール主催者より (公財) 生命保険文化センター 代表理事 小原 広之	1
● 全国賞入賞者表彰式	2
● 感動と喜び 祝福に包まれた懇親パーティー	3
● 全国賞入賞者プロフィール	4
● 全国賞入賞おめでとう(祝辞) ・全日本中学校長会 会長 青海 正氏 ・(一社)生命保険協会 副会長 藤戸 方人氏	8
● 講評 ジャーナリスト 岩田 三代氏	10
● 受賞者代表より 札幌市立北都中学校 3学年 安達 侑歩さん	14
● 全国賞入賞作品 ・文部科学大臣賞(1編) ・全日本中学校長会賞(1編) ・生命保険文化センター賞(1編) ・優秀賞(5編)	15
● 都道府県別賞 1等 入賞者一覧	32
● 都道府県別 応募状況・入賞者数一覧	33
● 多数応募校一覧	34
● 都道府県別 全国賞入賞者一覧(第1回~第63回)	35

が設立されるとともに作文コンクールを引き継いで、現在に至るまで毎年途切れることなく実施されてきており、応募作品数は累計で約120万編となっております。

この作文コンクールが成り立っているのは、まずは、生命保険の意義をご理解いただき応募するという判断をしていただいている、ご担当の先生方に負うところ大であることはいうまでもありません。

また、生命保険協会にはこの事業の協賛をしていただいておりますが、全国の学校に募集案内をして、審査結果について報道機関に周知し、賞品や賞状を学校に届けていただいているのは、生命保険協会の地方事務室です。

作文の審査にあたり、評議員や中学校校長会などにもご協力をいただいで、ほかにも私の知らないところで多くの方々のお世話になっていいることと思ひます。この場を借りて感謝いたしますとともに、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

加えて、毎年ご後援をいただいでいる文部科学省、金融庁、全日本中学校長会に対しまして厚くお礼申し上げます。



感動と喜び

祝福に包まれた懇親パーティー

ちょっぴり緊張した表彰式のあとは、くつろいだムードのなかでの懇親パーティー。お互いの入賞の感動と喜びを語り合い、また、新しい交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。ご来賓の方々からも、お祝いや励ましをいただきました。

挨拶をする
家森評議員会会長



全国賞入賞者表彰式

2025年11月21日(金)、第63回中学生作文コンクールの全国賞入賞者とそのご家族、先生方を東京・千代田区アルカディア市ヶ谷(私学会館)にお招きし、表彰式を開催いたしました。

当日は、最終審査委員の方々、生命保険協会・藤戸方人副会長にもご臨席いただいたほか、多数の関係者が出席して盛大に式典が進められました。



最終審査委員

- 全日本中学校長会 会長
青海 正氏
- 静岡大学 大学院教育学領域 教授
色川 卓男氏
- ジャーナリスト
岩田 三代氏
- 日本経済新聞社
編集 総合解説センター 編集委員
石塚 由紀夫氏
- (公財)生命保険文化センター
代表理事
小原 広之



全国賞入賞者プロフィール

入賞者のコメント

- ①入賞されたご感想は？
- ②今回の入賞を誰が一番喜んでくれていると思いますか？
- ③学校の勉強で好きな科目は？
- ④好きなもの（趣味・スポーツ・タレントなど）は？
- ⑤尊敬している人は？
- ⑥将来の夢は？
- ⑦十年後の自分へメッセージを贈るとしたら？
- ⑧生命保険についての作文を書くことについての感想は？

先生のコメント

- ①どのような生徒さんですか？
- ②作文指導について
- ③当コンクールについて
- ④その他

※このコメントは入賞連絡時(2025年10月)にいただいたものです。

優秀賞



北海道
藤女子中学校
3学年
まえだ みおん
前田 海音

- ①この度は素晴らしい賞を頂戴し誠に光栄に思います。中学校生活最後の年に全国賞入賞できましたことは、ひとえに入学以来時に厳しく時に温かく作文以外でもご指導いただいた先生方のお陰だと存じます。家族をはじめ先生方、友人、そしてこの作文を読んで下さった方々へ感謝申し上げます。ありがとうございます。
- ②作文でもふれましたが、今年の夏に逝去した祖母は特に喜んでくれていると思います。
- ③3年次に取り組んでいる「探究学習」は自ら課題を掘り下げる難しさと共に、「探究心」が育てられている手応えも感じます。私は海外難民視力支援活動について考察しています。
- ④今年から始めた少林寺拳法に夢中です。自分自身をみつめるという修行が新鮮です。中学3年間続けたバスケットボール部は高校でも頑張ります。
- ⑤自由律俳句俳人のせきしるさんです。せきしるさんのように、誰もが感じたことのあるような凜とした孤独感をつづりたいと憧れています。
- ⑥健康・スポーツ分野で社会貢献できたらと考えています。
- ⑦今まで支えてもらった人達に恩返しできていますか？よく寝て、よく食べて、よく学び、よく遊んで下さいね。
- ⑧生物界には苛烈な生存競争以上に、相互扶助の原理が働いていると言ったのは革命家のクロポトキンですが、社会を構成する人々が助け合うことの大切さを私達に教えてくれるのは生命保険だと思います。中学生が生命保険についての作文を書くことは、その仕組みを知り、大切さを学ぶきっかけになると実感しています。

押切 大輔先生のコメント

- ①何事に対しても一生懸命にとりくむ真面目な生徒です。文章を書くことが得意で、様々な作文コンクールにも挑戦しております。分野問わず、幅広く興味、関心を持ち、色々な情報や知識を吸収する姿勢があり、模範となる生徒です。

生命保険文化センター賞



福岡県
太宰府市立太宰府中学校
3学年
あおやぎ ゆりな
青柳 優里菜

- ①先生から作文の報告を受けて、驚きと嬉しさで胸がいっぱいになりました。入賞したことを両親に伝えたところ、乳ガンの治療中の母は「病と向き合い闘う励みになるよ」と嬉し泣きをして、そんな母を見て私も貰い泣きしてしまいました。私の書いた作文を選んでいただき本当にありがとうございます。
- ②母だと思います。
- ③音楽と美術が好きです。国語はその次に好きです。
- ④私の趣味は旅行に行ったり、韓国ドラマを見たりK-POPを聴いたりすることです。
- ⑤尊敬している人は父です。定期考査前になるとどんなに疲れていても私の苦手な数学を教えてください。いつでも寄り添ってくれるところに深い愛情を感じています。
- ⑥将来の夢は2つあり迷っています。一つは保健師になることと、もう一つは航空関係の仕事に就くことです。
- ⑦どんな仕事に就いても、きっとまじめに頑張っているだろうと思うので、時には肩の力を抜いて、大好きな旅行を楽しみましょう！
- ⑧母の病気に関する内容を作文にしたいと思い母に話しました。私は母が医師から乳ガンだと告げられた日のことや、手術を受けた日のこと、放射線治療を受けていた日々の母の様子を思い出して作文にしました。完成した作文を見せると、静かに微笑んで「ありがとう。」と母は言いました。作文が母のエールになれたなら嬉しいです。

寺本 龍生先生のコメント

- ①まじめに物事に取り組み、どんなときも落ち着いた態度で学ぶ生徒です。美術部に所属し、絵を描くことにも意欲的に取り組んでいました。作文を書くことが大好きで、日常の中で感じたことを自分の言葉で丁寧に表現しています。中学1年生の頃に作文コンクールで入賞しました。
- ②具体と抽象の使い分けについての授業を行い、自分の考えを的確に表現し、伝えたいことに説得力を持たせられるように指導しました。また、要点をまとめる練習にも取り組ませました。
- ③本コンクールを通じて、生徒は生命保険について自分事として考えることができました。また、景品も豪華で作文が苦手な生徒でも「頑張ってみよう」と思える工夫がされており、とてもよかったと思います。

全日本中学校長会賞



兵庫県
白陵中学校
3学年
はらだ ゆうせい
原田 悠生

- ①私は、文章を作成したり、自分の思いや考えを言葉にすることが苦手なので、入賞の知らせを受けて嬉しく、とても驚きました。また、何度も「ドッキリ？」と聞いてくる母の表情がとても面白かったです。素敵な賞をいただいたので、これを励みに、日々学業等を頑張ろうと思います。
- ②両親です。普段よく衝突して迷惑をかけているので、喜んでくれるきっかけができて良かったです。
- ③理科です。特に化学が好きで化学部にも所属しています。実験が大好きで、文化祭でも実演しました。
- ④化学実験、音楽鑑賞です。J-POPが好きです。
- ⑤ノーベル化学賞を受賞された北川進さんです。長年諦めずにコツコツと積み重ねた事が評価され、自分もそんな人になりたいと思いました。
- ⑥化学や工学に関する研究職に就くことです。学んだことを活かして、世の中を豊かにする手伝いをしたいです。
- ⑦社会に出て働き始めた頃なので、すぐに芽は出ないとしても、コツコツとした積み重ねを続けるように、と伝えたいです。
- ⑧私は最初、生命保険に関する知識がほとんどなく、一から調べることから始まり、とても大変でした。調べていくうちに、万が一のときに自分を助けてくれる大切な仕組みだと知りました。家族ともよく話し合い、しっかりと考えていこうと思いました。

山科 祐一先生のコメント

- ①原田悠生君は真面目で朗らかな生徒です。勉強ももちろん頑張りますが、それだけではなく、行事でも一生懸命に取り組む姿が印象的で、今年の運動会では、競技に、応援に大活躍し、クラスの総合優勝に大いに貢献していました。
- ②教科書を用いて、作文の書き方などを指導し、生命保険文化センターよりいただいた資料を配布しました。生徒たちは各自が自宅で書き上げ、ありのままの作品を評価していただくために、添削指導を一切せずに応募させていただきました。
- ③作文の機会や家族との会話の機会、命について考える機会、自分がいかに守られた存在であるのか、様々な学びの機会を生徒たちは得ることができたと思います。素晴らしい機会を与えて下さったコンクール関係者の皆様にお礼申し上げます。

文部科学大臣賞



北海道
札幌市立北都中学校
3学年
あだち ゆほ
安達 侑歩

- ①今回、このような素晴らしい賞をいただけたと聞いたときは、思わず「本当ですか」と何度も先生に聞いてしまいました。家に帰って家族に話したときも、私と同じように家族も驚いていました。本当に今でも驚きと嬉しさで胸がいっぱいです。家族や先生、友達にも喜んでもらえて本当に嬉しかったです。
- ②母です。入賞したこと、母について書いていたことを話すと、私よりも喜んでくれました。
- ③数学が好きです。
- ④Mrs.GREEN APPLEが大好きです。ミセスの曲を聴くことが、今、一番の楽しみです。
- ⑤保育士として働きながらも、家族みんなを支えてくれている母をすごく尊敬しています。大好きです。
- ⑥妹が産まれたときの感動を今でも忘れられないので、産婦人科医になりたいです。
- ⑦自分のやりたいことを全力で楽しんで、一生懸命、夢を追い求めて、毎日楽しんでください。
- ⑧作文を書くうえで、母に「生命保険の仕組み」、母だけでなく、家族みんな、生命保険に今まで何度も支えられていたことなど、生命保険について色々教えてもらいました。今回、作文を書くうえで、生命保険に入ることの大切さ、生命保険は、「私たちの安心」を支えてくれていることが分かりました。

蜂屋 陽子先生のコメント

- ①部活動は剣道部に所属していました。学級では、学級代表として活躍しています。また努力家で、学ぶことの楽しさを知っている生徒です。本をよく読み、文章を書くのもとても上手で、たった200字でも、家族の様子が生き生きと伝わってくる文章を書くことができます。
- ②授業の中で短い文章やスピーチ原稿を書く機会を積極的に作るようにしています。今回の作文は、普通の作文を書いたときにとても上手に書けていたので、生命保険の作文として書いてみては？とすすめました。
- ③全員が賞品をいただけることや、ディズニーランドに招待していただけることが、生徒たちが意欲的に作文を書く意欲につながっています。また作文を書くにあたって家族に改めて話をきけることもよいと思います。
- ④生徒にたくさん本を読んでもらいたくて、廊下におすすめのポップカードとともにたくさん本をおいています。学校賞でいただく図書カードで本を購入することができるのでありがたいです。

全国賞入賞者プロフィール

入賞者のコメント

- ①入賞されたご感想は？
- ②今回の入賞を誰が一番喜んでくれていると思いますか？
- ③学校の勉強で好きな科目は？
- ④好きなもの（趣味・スポーツ・タレントなど）は？
- ⑤尊敬している人は？
- ⑥将来の夢は？
- ⑦十年後の自分へメッセージを贈るとしたら？
- ⑧生命保険についての作文を書くことについての感想は？

先生のコメント

- ①どのような生徒さんですか？
- ②作文指導について
- ③当コンクールについて
- ④その他

※このコメントは入賞連絡時(2025年10月)にいただいたものです。

優秀賞



兵庫県
白陵中学校
3学年
うつのみや かりん
宇都宮 香凛

- ①優秀賞をいただき本当にうれしいです。祖母の入院を通して、生命保険が家族の安心を支える力になることを知りました。これからも身近な人を思いやる気持ちを大切にしていきたいです。東京ディズニーシーの見学会が、今からめっちゃ楽しみです。
- ②作文に登場する祖母です。
- ③世界史です。特に、ヨーロッパです。
- ④ミュージカル鑑賞です。特に、宝塚歌劇団です。カラオケです。文化祭でバンドのボーカルをしました。
- ⑤発展途上国であるラオスの教育環境向上のためにラオスで頑張っている母です。(NHKの全国ニュースでも放映されました。)
- ⑥祖母の病気を治してくれたような医師になって多くの病人を元気にしたいです。
- ⑦十年後の自分へ。人を思いやる気持ちを忘れずに、誰かの安心や笑顔を支えられる人になってください。
- ⑧作文を書きながら、生命保険があることで家族が安心できることを改めて感じました。祖母が入院したとき、給付金のおかげで家族が安心して過ごせたことはとてもありがたかったです。作文を通して、生命保険の大切さや支え合うことの温かさを学び、これからも感謝の気持ちを大切にしていきたいと思いました。

山科 祐一先生のコメント

- ①宇都宮香凛さんは明るく社交的であり、一方で、しっかりと学習に打ち込むこともできる全人的に円満な生徒です。文化祭では有志のステージに挑戦しようとダンスの練習をしたり、とても積極的に充実した日々を過ごしています。
- ②教科書を用いて、作文の書き方などを指導し、生命保険文化センターよりいただいた資料を配布しました。生徒たちは各自が自宅で書き上げ、ありのままの作品を評価していただくために、添削指導を一切せずに応募させていただきました。
- ③作文の機会や家族との会話の機会、命について考える機会、自分がいかに守られた存在であるのか、様々な学びの機会を生徒たちは得ることができたと思います。素晴らしい機会を与えて下さったコンクール関係者の皆様にお礼申し上げます。

優秀賞



大阪府
大阪府立咲くやこの花中学校
3学年
やまぎし こころ
山岸 心

- ①今回、中学生作文コンクールで入賞することができてとても嬉しく思います。結果を聞いたときは驚きましたが、それと同時に頑張って書いてよかったと思いました。また、作文を書く中で言葉にすることの難しさや大切さを改めて感じました。この経験を活かして、これからも自分の考えや体験を言葉で表現していきたいと思います。
- ②祖父
- ③国語、音楽、体育、美術
- ④音楽、ピアノ、Mrs.GREEN APPLE、RADWIMPS、清水翔太、ONE OK ROCK、One Direction、Taylor Swift、hack ear
- ⑤両親、中学受験時代の恩師、中学校生活でお世話になった担任、学年主任含めた先生方、アーティスト
- ⑥音楽関係、教育関係の仕事
- ⑦これまでの努力と支えてきてくれた人への感謝を忘れず、いつでも初心を忘れないで自分を信じて生きて欲しい。
- ⑧この作文を書く前は「生命保険」と聞くと、堅く難しい印象が強かったのですが、実際に調べてみると私たちの生活に深く関わりがあると知り「生命保険」についての印象が変わりました。今まで詳しく知らないまま、理解しようとしていたり、興味を持ったりしたこと無かったので今回のように知る機会が増えればなと感じました。

日野 聡美先生のコメント

- ①コミュニケーション力が高く、何事に対しても積極的で、常に新しいことに挑戦しています。そこで得た知識や経験が、彼女の豊かな発想力を培うものとなっています。今年の文化発表会では、部活動の劇の総監督を務め、周囲からの信頼も厚い生徒です。
- ②生命保険について、調べてわかったことだけを書くのではなく、自分や家族が体験したことがあれば、その時のことを書くように指導しました。また、字は丁寧に、誤字・脱字のないように書くことも伝えていました。
- ③応募者全員、参加賞をいただくことができ、魅力的な個人賞もあるので、生徒は積極的に取り組むことができました。自分の思いや考えを言語化する難しさ、大切に気づくことができる良い機会にもなりました。

優秀賞



滋賀県
草津市立草津中学校
1学年
おくむら しゅんすけ
奥村 俊亮

- ①今回、入賞することができてとても嬉しかったです。普段考えることのない命について、作文を通して自分の考えを深めることができて良かったなと思いました。これからも自分や家族を守るために、日ごろから安全について考えていきたいと思います。
- ②母親が一番喜んでくれていると思います。
- ③数学科が好きです。
- ④走るのが趣味です。
- ⑤母親を尊敬しています。
- ⑥世界一の陸上選手です。
- ⑦未来のことを考えることはとても大切だと伝えたいです。
- ⑧今回、生命保険についての作文を書くことで、家族や自分の将来を考えるきっかけになりました。生命保険を調べるうちに誰かを思う優しさが保険の中にあることを知りました。今回の作文を通してその大切さを実感することができて嬉しかったです。

株丹 篤史先生のコメント

- ①元気がよく、誰とでも仲良く関わることができる生徒です。リーダーシップもあり、学級内外で慕われています。先日の生徒会選挙では、副会長に立候補した友人の応援演説を務め、当選に貢献しました。陸上部でも近畿大会に出場するなど、さらに活躍の場を広げることが期待されます。
- ②毎年、コンクールを開催いただきありがとうございます。参加賞や地方賞も作文に取り組んでみようという子ども達のきっかけになっているので、今後も続いてほしいと思っています。

優秀賞



福島県
いわき市立植田東中学校
3学年
かつ ここな
勝 心々絆

- ①ダンサーになるという夢と生命保険の関係について書いた作文が、このような形で私の思いが伝わり入賞できたことがとても嬉しかったです。また、これを機に生命保険について詳しく知ることができたので、この知識をこれからの人生に役立てていきたいです。
- ②家族
- ③国語、英語、保健体育
- ④ダンス、音楽
- ⑤両親
- ⑥グローバルに活躍するプロダンサー
- ⑦なりたい自分になれていますか。周りの人を大切に、色々なことにチャレンジしてください。
- ⑧生命保険について調べ、作文にまとめていく上で、私たちの未来を守る仕組みがあることを知り、それはこれからの人生と切っても切り離せない関係にあることが分かりました。これを機に、今後も生命保険についてもっと調べてみたいと思いました。

佐川 智恵先生のコメント

- ①学校では、真剣に学習に励み係活動にも真面目に取り組む生徒です。将来はダンサーになりたいという夢に向かって一生懸命に努力しています。また、英語習得への関心が高く、検定試験にも挑戦するような前向きな生徒です。
- ②夏休みの課題の中の一つとして生徒には提示しました。生命保険が私たちの生活にどのように関わっていて、どのように生かされているのか(生かされていくのか)をしっかりとして記述するよう、指導しました。



全日本中学校長会
会長 青海 正氏

本日、各賞を受賞された中学生の皆さん、誠におめでとうございます。これまで生徒たちを慈しみ、育んでこられたご家族の皆様、また日頃の温かいご指導を通し、生徒たちの力をここまで高められた先生方に敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。受賞した生徒たちと共に喜びもひとしおのこと存じます。

さて、この作文コンクールは、日々の暮らしと生命保険との関わりや、生命保険を通じて見た家族の在り方について中学生自身が見たり、聞いたり、考えたりしたことを文章で表現する能力を育むという趣旨で実施されていると伺っております。

今年度も全国から約27,000編もの応募があり、その中から全国賞入賞作品8編が選ばれました。作文のテーマである生命保険に関することは、中学生の皆さんにとって馴染みの少ないテーマであったかもしれませんが、調べていく中でその仕組みや働きについて多くの発見があったことと思います。

また、生命保険によって救われた方が身近にいる場合には、より一層、生命保険の仕組みや働きについて自分に関わるものとして実感できたのではないかと思います。

今回受賞された皆さんは、それらの発見や実感とともに生命保険に対する思いや願いを自らの言葉で、読み手にしっかりと伝わるように表現していました。

現代の社会は、あらゆる分野でグローバル化が進展し、多様な価値観が混在しています。生徒の皆さんは、将来国外に出て行く機会も増える



(一社) 生命保険協会
副会長 藤戸 方人氏

このたび全国賞を受賞されたみなさん、誠におめでとうございます。またご家族のみなさま、ご指導にあたられた先生方にも心よりお祝いを申しあげます。

今年で63回目を迎える、この「中学生作文コンクール」は、1963年にスタートした歴史と伝統のあるコンクールです。これまで運営に携わってこられた生命保険文化センターはじめ各団体のみなさまには、改めて御礼を申しあげます。

私ども生命保険協会は、加盟生命保険会社41社とともに、次代を担う中学生のみなさんが生命保険に触れられる貴重な機会となる、このコンクールをとても大切に思っております。そのような思いから、この夏も記録的な猛暑でありましたが、全国の当協会事務室の職員が、みなさんの中学校一校一校に直接お邪魔をして、ご参加を呼びかけさせていただきました。

おかげさまで、今年も全国の733校から、26,986編と、大変多くのご応募をいただきました。どの作品にも「ご家族への愛情」や「未来への想い」が溢れており、胸が熱くなります。

おそらく、多くの方が、このコンクールをきっかけに、ご両親やご家族の方と、生命保険についてお話しされたのではないのでしょうか。そのことを通じて、未来の自分やご家族を守る「保険の大切な役割」について、深くご理解されたことが作品から伝わってきました。

一方、日本社会の内なるグローバル化の進展の中で、異なる価値観をもつ多様な他者と、当事者意識をもつ対話を行い、問題を発見・解決できる、「持続可能な社会の創り手」とならなければなりません。

このような社会を築いていくためには、自分の考えを相手に伝える力、他者の考えを理解して、自分の考えを深める力、他者への思いやりをもつて、多様な人々と協働できる力、価値観の違いによる対立を乗り越え、合意形成する力が大切です。

とりわけ、自分の考えを相手に正確に伝えるためには、文章による表現力が極めて重要です。文章によって、相手に正確に自分の思いや願いを伝えるためには、用いる言葉を吟味し、表現を工夫しなくてはなりません。このように言葉を大切にすることで初めて、自分の思いや願いを相手に伝えることができるのだと思います。

ところで近年、生成AIの急速な進化と普及により、生成AIとの協働・共生の時代が訪れています。生成AIを上手く使うには、明確かつ具体的な指示を与えること、タスクを細かく分けて段階的に指示すること、そして、生成された内容を鵜呑みにせず必ず確認・修正することが重要です。

また、昨今のSNSなどにおける単語や短文によるコミュニケーション、そこから生じる誤解により発生する様々なトラブルを目の当たりにして、校長として大きな不安を抱いておりますが、皆さんの作文を読んで、未来社会に対して、明るい「筋の光を見たように思います。

結びになりますが、本コンクールを企画・運営していただいた公益財団法人生命保険文化センターをはじめ、関係者の皆様に対しまして、生徒たちにこのような機会を設けていただいたことに、心より感謝申し上げます。本コンクルールのますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。

生命保険会社で働く職員は、その「保険の大切さ」をなんとかお伝えしたいと、日々、お客さまのところに足を運んでいます。そのことをわかっていただくことは、決して簡単なことではありません。

だからこそ、実際にお役に立てた生命保険を通じて、みなさんが、「保険の大切さ」をご理解いただき、ご自身の真っ直ぐな言葉で綴っていただけたことは、生命保険に携わる全ての職員にとつて大変な励みとなります。

そしてみなさん方ご自身にとつても、このコンクールを通じて学ばれた気づきや知識は、これからの長い人生を歩んで行かれる中で、必ず役に立つはずですよ。

生命保険協会は、生命保険文化センターと力を合わせて、大学での「実学講座」をはじめ、みなさんが生涯にわたって生命保険について少しでも身近に感じていただける機会づくりにこれからも取り組んで参りたいと考えています。

最後になりますが、みなさんがこれからも健やかに、多くの経験を通じて豊かな人生を送られることを心より祈念いたします。私のお祝いの言葉にかえさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。



ジャーナリスト

岩田 三代氏

皆さん、本日は受賞まことにめでたうございます。

この中学生作文コンクールは、今年で63回目という歴史あるコンクールで、今年も全国から約2万7,000編の応募がありました。

皆さんは、その中から選ばれたトップ8人です。本当にすごいことで、どうぞこの受賞を誇りに、自信をもってこれからの人生を歩んでいただきたいと思います。

講評は例年、受賞作一編ごとにお話しさせていただいていますので、本日も審査員を代表して私からよかった点や心に残った点などを簡単に触れさせていただきます。



全日本中学校長会賞

『思いやり』の生命保険 原田 悠生さん

この作品は、とても心配性のお母さんの話です。作文を読ませていただくと確かなかなり用意周到ですね。筆者はそれが嫌で少しうざったかったのですが、保険について学ぼうちに変わっていきます。

実は筆者は1歳前後の時に2度も手術を受けていたのですが、保険に入っていたおかげでお母さんはお金の心配なく世話に専念できた。「万が一に備える保険は大切な人へのおもいやり」と気づきます。

そして「煩わしさを感じていた母の心配性も私へのおもいやり故だろう」と捉えるようになる。でもどっぷり受け入れるのではなく「少々行き過ぎのところはあるけれど、少しは耳を傾け、適度に見習っていこうかと考えた」という距離の取り方が微笑ましいですね。この作文も審査員全員が高評価をつけました。



文部科学大臣賞

『もしもの夜にともる』希望のあかり

大切な人に『ありがとう』の気持ちを込めて

安達 侑歩さん

この作品は5人の審査員全員が高評価をつけました。タイトルが副題もあつて少々長いのですが、作文の中身を大変よく表している。冒頭にお母さんの「茶碗洗いやつといて」「洗濯物たたんでおいて」云々の声がかかれており、読者をぐっと引き込みますね。

そして「入院……いつからにしようかな」の父母の会話。卵巣腫瘍の手術を受けることになった母への愛情や感謝の気持ちが大変素直にかかれており、そんな出来事を経て二段階成長した筆者の様子も伝わってきます。

保険を心に余裕を与えてくれる希望のあかりと表現しているのもいいですね。文章も達者で、大変レベルの高い作文だと思います。



生命保険文化センター賞

『母の病気と生命保険』青柳 優里菜さん

この作品は、悪性の乳がんで手術を受け、放射線治療を続けたお母さんとの会話や体験を通じて、保険の大切さを学んでいく過程が描かれています。

がん診断されたお母さんが真っ先に電話したのは保険会社の担当者。自分のことより家族を気遣うお母さんにとって、一番心配だったのは生活費や教育費など金銭面。保険はそんな心配をやわらげてくれました。お母さんは修学旅行に行く娘を気遣い、医師に打診された手術日を1週間延ばしたそうです。母親の冷静さとやさしさが伝わり、家族や保険についてじっくり考えさせられる一編です。



優秀賞

「想いの話し方」 前田 海音さん

この作品は、おばあ様が急死して、お母さんが支払いに追われる姿から、経済的な負担は悲しみと向き合うことさえ妨げるのではないかと考えます。

その後、発達障害のあるお兄さんと、特定疾患を抱える筆者にご両親が保険の提案やライフプランニングについて話します。

互いをおもいやる家族の大切さと保険の役割がきちんと書かれた作文です。

「お金が全てじゃないけど、お金に愛情をこめることはできる」というお母さんの言葉がいいですね。



私自身は高く評価させていただきました。夢に向かって是非、頑張ってください。

優秀賞

「もしもの日と、やさしい備え」 奥村 俊亮さん

この作品は、保険を通して自分の生き方や社会について深く考えた作文です。

身近な方の死や病気といった出来事に遭遇したわけではなく、テレビで見た高速道路の事故から保険についてお母さんと話し、インターネットで調べて、保険の持つ安心と未来への備えという結論にたどり着く。

文章もしっかりしており、話の展開も大変上手だと思います。今回の受賞者の中で唯一の一年生ですが、一年生と思えない力量です。



優秀賞

「私の夢と生命保険の重要性」 勝心々絆さん

この作品はとてもユニークで、審査員の評価も少し割れました。冒頭に「私は将来、プロのダンサーになりたいと思っています」という筆者の決意表明がある。そして書かれているのはダンサーになった私が、もし怪我や病気で働けなくなった時に助けてくれる保険についての考察です。

他の作品とは少し毛色が違います。でも個性的でとても前向きな作文です。

優秀賞

「大切なものを守るために」 山岸 心さん

この作品は、がんで亡くなったおじい様と、死後の家族の生活を支えた保険の話です。

会社の社長をしていたおじい様の不在は大きく、その死は家族に大きいのしかかかってきました。悲しみの中で対応に追われる祖母のもとに、保険会社から一本の電話。担当者は親身に寄り添い、保険金は祖母の心も支えてくれたといいます。

この作文は筆者がおばあ様から聞いた話をもとに書かれています。おばあ様の貢献度大で、さぞかし受賞を喜んでいらっしやることでしょう。



優秀賞

「平凡な日常に感謝」 宇都宮 香凜さん

この作品は、臨場感あふれる文章表現で、話の展開も本当に上手です。

海外で働くお母さんに代わって家事を担ってくれていたおばあ様が、ある日がん宣告を受ける。ずっと続くと思っていた日常が突然崩れ、祖父と筆者は口数少なく暗くなります。

でも、おばあ様は保険のおかげで個室に入り、安心して手術を受け退院できます。「生命保険って困った時助けてくれるヒーローみたい」という表現がかっこいいですね。

平凡な日常のありがたさがしみじみと伝わります。



今回の8編はバラエティーに富み、素晴らしい作品がそろったと思います。中学生という多感な時期に、保険を通じて家族の大切さや自分の将来についてじっくり考えた経験は、きっと皆さんのこれからの人生をより豊かなものにしてくれるでしょう。改めて、本日の受賞おめでとうございます。

北海道

札幌市立北都中学校 三学年

安達 侑歩さん



このたびは、第63回中学生作文コンクールで文部科学大臣賞という素晴らしい賞をいただき、本当にありがとうございます。受賞の知らせを聞いたとき、最初は信じられなくて、何度も聞き返してしまいました。驚きと同時に、これまでそばで支えてくれた大好きな家族、そして周りの方々への感謝の気持ち胸にあふれてきました。

私が作文に書いたのは、母が病気になるたときの出来事です。突然の不安の中で、母が加入していた生命保険が、経済的にも心の面でも、私たち家族を支えてくれました。

そのとき私は、生命保険は、「お金の安心」だけではなく、不安な心にそっと灯りをともしてくれる「希望のあかり」だと感じました。

そしてこの経験を通して、私はもう一つ大切なことに気付きました。

人は、誰かに支えられて生きているということです。

それを当たり前と思わず、「ありがとうございます」という気持ちを言葉にすること、そして優しさを返していくことの大切さを学びました。

支えてもらった幸せを、今度は誰かに返していける人になりたい。感謝を胸に、優しさを届けられる人でありたい。

今回の受賞は、私ひとりの力ではありません。そばで支えてくれた人たちがいたからこそ、こうしてここに立つことができていると思います。

だからこそ、これからは支えを受け取るだけでなく、「支えを届けられる人」になつていきたいです。

本日は本当にありがとうございました。

全国賞 入賞作品

- ◆文部科学大臣賞 <1編>
- ◆全日本中学校長会賞 <1編>
- ◆生命保険文化センター賞 <1編>
- ◆優秀賞 <5編>

「茶碗洗いやつといて。」「洗濯物たんでおいて。」「勉強も忘れないでね。」——母の声が聞こえるたびに、「忙しいからあとで。」「気が向いたらやるよ。」と、つい口答えをしてしまう。本当は、母がどれほど家族のために毎日大変な家事をしているか、気付いていたはずなのに、見て見ぬふりをしていた。

ある日の夜、電気を消そうとした時、「入院……いつからにしようかな。」と、母が父に話す声が聞こえてきた。「入院？」私はスイッチに触れた手が止まった。胸が「キュッ」となった。何で？お母さんに何かあった？病気？それとも……。直接聞きたいけれど、怖くて聞けず、その日はよく眠れなかった。

数日後、母と二人で出かけた帰り道、「ちょっと話があるんだけどね。」と言われ、私は身構えた。

「お母さん、卵巣腫瘍っていう病気になっちゃって、手術と入院が必要なの。」

頭が真っ白になった。思わず「死なないよね。」と聞いた私に母は「死なないよ。でも、卵巣を取るから、もう赤ちゃんは産めないかもしれない。」と言った。妹がもう一人欲しい。そんな話を前にしたことがあったが、今は赤ちゃんのことより母が生きていてくれる方が百倍大事だと思った。手術への不安な気持ちもあったが、「大丈夫。私にできることは任せて。手術、頑張つてね。」と笑顔で答えた。でも本当は怖くてたまらなかった。笑顔でいることがあんなに難しいなんて初めて知った。それでも私は、母自身が一番不安に思っていると思い、涙は必死でこらえた。

母は生命保険に加入していた。私の家は決して裕福ではない。手術や入院にかかる費用は大きな負担となるはずだった。しかし、医療特約のついた保険のおかげで、手術費も入院費も保険から支払われた。

「自分のことで家計に負担をかけずに済んでよかった。」

そう話す母の顔には安心したような表情が浮かんでいた。その姿を見て、生命保険は家計だけでなく、心にも余裕を与えてくれるのだと感じた。

母の入院中、家事は私と父と妹で分担した。洗濯、料理、掃除、四歳の妹のお世話……。段々、自分の時間はなくなっていく。時々妹は「ママに会いたい。」と

泣きながら言うてきた。私もその時は、一緒に泣きそうになった。今まであんなに口うるさいと思っていた母が、こんなに恋しくなるなんて……。

母の退院の日。私は「おかえり。」と笑顔で迎えるつもりだった。でも、母の顔を見た瞬間、抑えていた感情があふれ、「大好き。いつもありがとう。」と泣いて抱きついてしまった。母は始め驚いていたが、目に涙をいっぱいためて「ママも大好きだよ。」と言い、優しく抱きしめてくれた。

私はこの経験を通して、二つの大きなことに気付いた。一つ目は、母の存在の大きさ。普段の何気ない毎日が、母の力で支えられていたということ。二つ目は、生命保険がそっと灯してくれた「希望のあかり」。母がいない間、真っ暗闇にならずに済んだのは、その明かりが私たち家族の足元を照らしてくれていたからだと思う。

母の命が助かったのは、早期発見と、きちんと備えていたからだ。『保険について考えるのは、まだ早い。』と思っていた私も、今では将来、家族のために必ず保険に入ろうと決めている。また、私はこの出来事をきっかけに「感謝の気持ちを伝えること」の大切さも学んだ。「ありがとう」「大好きだよ」——それは、保険と同じくらい人の心を支える言葉なのかもしれない。だから私は、保険に入るだけでなく、周りの人に優しい言葉や行動を届けられる人になりたい。そして大切な人を守りたい。その思いこそが、保険を選ぶ時の私の原点になると思う。

学 校 紹 介

北海道
札幌市立北都中学校

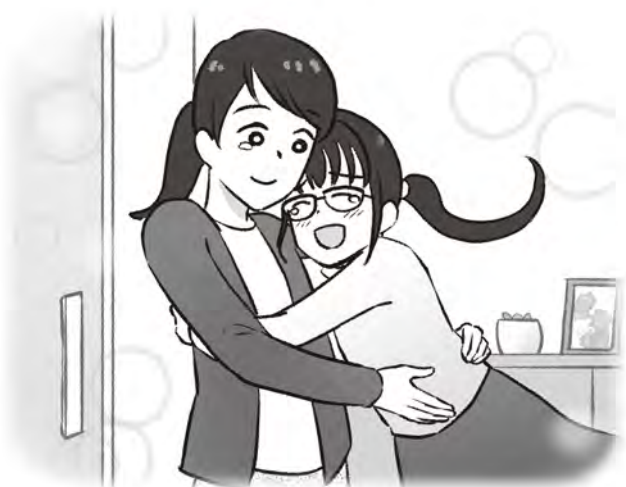
「開拓の精神—先人の創造的豊かな知性と気力あふれる根性に学ぼう」を教育目標に掲げています。たくましく未来を切り拓く力を育み、自己の可能性を伸ばしながら、社会に貢献できる生徒の育成を目指しています。

全校生徒570名が在籍し、挨拶を大切にする伝統が受け継がれています。近年は合唱も新たな伝統として根つき、心をつなげる活動が広がっています。地域とのつながりも強く、校区内清掃では350人を超える生徒がボランティアとして参加し、感謝の気持ちを込めて地域をきれいにしました。Heartful dayには「ありがとう」を伝えるハートのカードを玄関前に貼り、小さなカードが集まって大きなハートとなりました。

北都文化祭では「Heartful」

あたたかい心でつながる学校」をスローガンに、合唱や○×クイズ、特技披露などで全校が笑顔に包まれました。人懐っこく、純朴で思いやりのある生徒が多い北都中学校は、これからも地域に支えられながら「開拓の精神」を胸に未来を創造していきます。

(蜂屋陽子先生より)



私の母はとても心配性だ。「もし何かあったら困るやろ。」が口癖で、様々なことに前もって計画し、準備するよう私にも要求してくる。良く言えば計画的で慎重で、責任感のある人なのだが、神経質に思え、正直口うるさく煩わしい時があり、よく衝突していた。長めの外出の際は、出発前に必ず掃除を始める。帰ってから良いのではと聞くと、「何かあって無事に帰れなかった時、誰かに整理されていない家を見られるのは嫌。」らしい。出かける際の荷物は、もしもを想定して多くなる。母の想定するもしもが起きたことはあまりない。ある日、母が通帳や書類を集めてエンディングノートのようなものを作っているというので驚いた。「まだそんな年齢ではないだろう。」と言うと、「もしもの時に困らないでしょ。何かがあったら、お金や保険やらまとめているからこれを見てな。」という会話をしたことを覚えている。遺影用の写真を準備しておこうと毎年父とお互いの写真を撮ったり、母がもし病気がかかったり、死んだらという話を笑いながらしてくる。母が明るく病气や死について言うのは不謹慎な気がして嫌だった。初めて保険の種類や仕組み、成り立ちや必要性を学んだが、母の考え方への私の感じ方が少し変わった。

家族がどんな生命保険に加入しているか聞くと、医療、死亡、介護、こども、年金と種類が多かった。また掛け金の結構な額に驚き、「高いなあ、必要なだろうけれど健康なら返ってこないお金、起るかどうか分からないのにこんなに支払うのはもったいない気がする。」と言うと、「自分は大丈夫とは思ったらダメよ。万が一の時は本当に助かるよ。でもほんまに高いなあ。」と母は笑っていた。最近母は病気で手術や入院をしたが、その際に生命保険の給付を受けたらしい。「あなたも二回ほど生命保険のお世話になったことあるよ。」と言われ、若い私がそんな万が一になんて当面は直視しないだろうと思いついていたので驚き、生命保険に興味を湧いた。

両親は私が誕生してすぐに私の将来のための学資と医療が一緒になったことも保険に加入してくれた。この保険は、私の教育資金の備えのため、親のもしもの時、その後の掛け金は支払い免除になるものだ。生まれてすぐ、私の将来を考えてくれたことが嬉しかった。私は一歳前後に二度、手術、入院をしたそうだった。乳児の入院の

場合、親などが病室に泊まり込んで世話をする付き添い入院が一般的で、急だったため、何の準備もできず大変困ったそうだった。父は仕事で忙しく頻繁には病院に顔を出せず、祖父母も県外で遠方なうえ、当時は曾祖父母の介護のため頼れず、母は一日中私と病院にいて帰宅も外出もできなかった。幼くよく泣くため、設備の整った個室に入り、食事や日用品は院内の移動販売を利用していただそうだった。個室の差額代や食料費等は結構要るだろうと思ったが、保険に加入していたので、費用を気にせず安心して私の世話に専念できたらしい。もし保険がなかったら、ただでさえ子供のことが心配なお金のことにも気にしていたらもっと不安だったと思うと言っていた。生命保険が身近なものに感じた。

生命保険に入った理由を聞くと、「自分と家族のためだよ。万が一のことがあっても、あなたに我慢をさせたり、将来を諦めさせたくない。病気になるたら気兼ねなく安心して治したいし、老後は家族に金銭等で迷惑をかけたくないからだよ。」と答えてくれた。万が一に備える生命保険は大切な人への思いやりであると思った。煩わしさを感じていた母の心配性も、私への思いやり故なのだろうと思いつつ行き過ぎのところがあるけれど、少しは耳を傾け、適度に見習っていこうかと考えた。私は数年後には自分の行動に責任を持つ成人となる。その時は将来設計や備えをしつかりと行なって、私も大切な人を思いやり、守りたいと思った。「備えあれば憂いなし」、生命保険はまさにそれだと思う。

紹介
学
校

兵庫県
白陵中学校

白陵中学校は兵庫県高砂市にある私立の男女共学の中学校です。本学園は人本主義の精神に則り、「研究と訓練」「独立不羈」「正明闊達」を校是とします。深遠なる洞察力と高い学識を持ち、事に当たって責任感と勇猛心ある人材たる基礎を養うことを学園創設の本旨としています。

生徒たちは一学年に約200名が在籍していますが、目の行き届いたきめ細かい指導を展開するため、教員1名に対し生徒約12名余りという組織編成を行っています。

これにより、学習面、生活面、その他課外活動に至るまで先生と生徒と保護者のより密接な信頼関係を作り上げています。また、本学園は、山裾の約104,000㎡の広大な敷地を有し、人家の

密集地を離れ、緑の山並みと小鳥さえずる林に囲まれた絶好の環境にあります。空気はあくまで清浄、勉学を妨げる騒音もなく、また、四季折々の自然や生物たちの営みを肌で触れあいながら生徒たちは毎日を恵まれた環境で生活しています。

「英才の育成を目的としている」本学園で、生徒たちは勉学に、部活動に、充実した日々を過ごしています。

(山科祐一先生より)



昨年の秋、母から「悪性の乳ガンだからできるだけ早く手術をした方が良い」と医師から勧められた。」と告げられた。私はエッ!? という言葉以外に何も言えず、驚きとショックでただ母の側に寄り添うことしかできなかったことを今でも覚えている。固まる私に母は、「大丈夫だから。手術をして腫瘍を取るの。前入りで入院して金曜日に手術を受ける。日曜日には退院するから迎えに来てね。木曜日と金曜日のお夕飯は作り置きして冷蔵庫に入れてるから温めて食べてね。お母さんが居ない間ケンちゃんのお世話とお父さんのことを頼むわね。」と淡々と言った。母が医師から打診された手術日は私が修学旅行へ行く日だったため、娘が心配して修学旅行が楽しめなくなるのは嫌だからと医師に話し母の気遣いで手術日を二週間延ばしたらしい。ガンの手術を受けることも私と父と母の妹だけにしか言わず、介護を必要とする祖父母に言わないのは心配をかけたくないという母の希望だった。ガンと言われてショックを受けているはずなのに手術を受けることに不安でいっぱいだと思うのに、自分のことより私や父のことを心配して気遣う優しさに母は強い人だと思った。母に怖くないの? と聞くと、「手術を受けることへの怖さはあまりないけど、不安がある」とすれば金銭面かな。」と母は言った。

「ガンと診断された時に真ッ先に電話したのは誰だと思っ?」と聞かれ、お父さんかなと答えると母は保険会社の担当者さんと笑って言った。医療保険に加入していても申請できるのは手術が終わって退院した後で、医療費の申請書類を郵送してもらうため保険会社の担当者へ一番に電話したのだという。生活費をやり繰りする上で受験生となる私のサポートやまとまった教育費も必要となることへの心配も大きかったようだ。

医師や看護師と保険会社の親身なサポートのお陰で無事に手術が終わり家族で新年を迎えることができたが、母は春先から受ける放射線治療には手術の時とは違っ?かなり悩んでいた。金銭面の負担ももちろんだが、何より放射線を受けることで他の臓器へのリスクや副作用、そして何より胸の色や形が変わることへの辛さが

同性の私にはよく理解できた。

放射線治療が術後の検査で予定していた日数よりも延びてしまい精神的なストレスが増す中、看護師さんの励ましや病人扱いをせず普段と何一つ変わらずに接する私と父の存在が何よりも心強く辛い日々を乗り切ることができたと母が言っ?私にはホッとした。

母は保険はお守りで使わずに済むことが何よりだけれど、いざという時に助けられる心強い味方であること、また年齢に合わせて保険を見直すことの大切さ、成人したら定期的に健診を受けることの大切さを私に教えてくれた。母の病気をきっかけに生命保険について詳しく知ることができ、以前よりも増して医療に関わる仕事への関心も湧いた。私も大切な人を支え守れる存在になりたいと思う。

紹介 学校

福岡県 太宰府市立太宰府中学校

太宰府中学校は「自らの手で未来を創ることのできる自立した生徒の育成」を教育目標に掲げ、生徒が主体的に行事や生徒会活動に取り組むことを重視しています。体育祭や文化祭では、リーダーの生徒が他の生徒を巻き込み、共に盛り上がることで、生徒の心に残る行事となりました。

学習面では、各教科の単元ごとにまとめられたA4サイズのMICHIZANEプリントを活用し、生徒は自分に必要な学習内容を選んで学ぶことができます。このシステムにより、学年を問わず必要な学習に取り組めるため、基礎学力の定着と理解の深化につながっています。

部活動や社会体育活動も盛んで、多くの生徒が日々全力で練習に取り組む、成果を上げています。また、地区のお祭りの

運営や資源回収などの地域の取り組みを通して、地域に積極的に貢献できる生徒も多く育っています。

このように、学びと活動の両面で自立した生徒を育てています。

(寺本龍生先生より)



今年の夏の朝、祖母が急死した。突然すぎて実感もわかないまま、母は支払いや手続きに追われた。そんな最中母は「私が死んだらまず保険会社に連絡ね。証券これね。」と私に指示した。祖母は保険に加入していなかった。経済的な負担は、時に悲しみと向き合うことさえ妨げてしまうように思えた。私はもう会えない祖母の笑顔を思い浮かべながら、万が一の時大切な人にお金を遺せることは、この世を去る人にも、残される人にも、感謝と安心をもたらすのではないかと思った。

同じ夏、兄が成人を迎えた。父母は兄に医療保険加入を提案した。様々な意思決定が十八歳からは独自に行える。その一歩としての兄への打診だった。父が「希望が叶えば家を出て新しい生活を始めることになるよね。少しでも不安なく充実した人生を送るために、保険という後ろ盾が必要だと感じたら手続きをしよう。」と兄に資料を渡した。兄は発達障害がある。口頭の指示は理解しづらく、注意力も散漫だ。周りの理解に恵まれてなんとか高校卒業には漕ぎ着ける気配だが、その後の自立となるとあまりにも不安要素は多い。兄は「保険が必要な状況のイメージわかない。すぐは決められない。」と言った。私も三年後、成人した自分を想像する。私は特定疾患があるため、先日の入院で医師から「高校卒業した後も、治療を考えると大病院に通院が可能な範囲での進学や就職が望ましいかなあ。」と説明された。今と変わらない守られた環境で、「自立」というイメージはつきにくい。自分に必要なものを自分で決めることは、今の兄と私には難問だ。

『ライフプランニング』をしてみるといい。将来どんな人生を送りたいかの構想を描くことで必要な準備がイメージできると思うよ。」と父が言った。それは今の自分を出発点として自分の資源を見出し、生き方を問い直し、将来を見通して人生を考えることらしい。進学、就職、結婚、出産など様々なライフイベントを想定し、目標の実現をお金の面から支える合理的な設計書を作成する。「その中で自己保有しきれないリスクをヘッジするのが保険の役割。リスクを認識して、どこまでのリスクなら自己保有できて、どの部分は保険でカバーするかを見極めることが大切なんだ。」と父は言う。

兄は保険加入を決めた。「ママ（祖母の渾名）、最後に僕らに夢を叶えて幸せに生きて欲しいって伝えたかったと思うんだ。不測の事態が起きても保険があれば、きっと夢を諦めないで頑張れる。想いの託し方は人それぞれだけれど、保険ってラストラブレターとも言っただって。自分がいなくなった後も大切な人に想いを届けて守ってくれるなんて、分身がいるみたいで心強いな。『もしもの時はお互い様』の気持ちで成立する保険って、愛だよ。」と話した。見知らぬ人達が手を取り合い、誰かの夢や人生を支える。保険について知ることは、私達兄妹にとって自立という人生の目標への見通しをつけることで、あらためて家族や周りの人に感謝する唯一の機会だった。よし、私も病気を言い訳にせず、やりたいこと、やるべきことを見つけよう。

備えあれば憂いなし。この言葉は元々「普段から危ない所を『知る』と、そこから何かしようと思うから、備えるので何かあっても大丈夫」という意味だそうだ。備えるためには知る。具体的な「憂い」すなわち危機意識を持つことで、どう対処すべきかという備えが構築される。自然災害や未曾有のウイルスの脅威や戦争など、まさかと思っていたことが起こる時代だ。万が一の際に、自分や誰かを守る。その手段の一つが保険だと思う。

「お金は選択肢だよ。なりたいたい自分への可能性が確保できる。私は保険で想いをあなたたちに託す。お金が全てじゃないけど、お金の愛情を込めることはできるから。」母は言う。私は託された想いを胸に、自分の人生を歩む。祖母もきっと、見守ってくれている。

紹介 学校

北海道 藤女子中学校

本校は北海道札幌市にありますカトリック系の中高一貫の女子校です。今年度創立百周年の節目を迎えます。十二歳から十八歳までの人格形成における最も大切な六年間を、女子だけという落ちついた環境で過ごし、カトリックの精神に基づいた心の教育と六十五分授業の実施によって次世代を担う女性を育成しています。

六十五分授業では、基礎学力を身につけることはもちろんのこと、正解のない問いや答えが一つではない問いに挑戦し、仮説を導き出す過程で論理的思考力、構造を的確に表現する力、様々な可能性から判断し最適解を導き出す力を身につけていきます。

部活動、音楽、美術、勉強、化学等様々な分野に興味を持つ生徒が多く、多感な時期に色々な価値観と触れ合うことで

幅広い見識を得る環境として大変良い空間となっております。

(押切大輔先生より)



私は将来、プロのダンサーになりたいと思っています。ダンスは小さい頃から続けていて、音楽に合わせて体を動かしていると、自分の気持ちや想いを表現できる気がします。ステージに立ったときの高揚感や、見ている人と心がつながったように感じる瞬間が、とても好きです。だから私は、大人になってもダンスを続けていきたいし、それを仕事にできたらどんなに幸せだろう、と思っています。

でも最近、「好きなことを仕事にする」ことの大変さについても、少しずつ考えるようになりました。ダンスの先生が、「ダンサーは体が全て。ケガをしたら踊れないし、収入も止まってしまう。」と話していたのを聞いたとき、夢を追うことの厳しさに改めて気づかされました。毎日の練習では、足をひねったり、転んだりすることもあります。もしそのケガが大きかったら、何カ月も踊れなくなるのだってあります。そこで「生命保険」の存在が頭をよぎりました。私は今まで、保険といえばお年寄りや病気になる人が使うもの、というイメージしかありませんでした。でも調べてみると、私のように体を使う仕事を目指している人には、とても身近で大切なものだと分かりました。プロのダンサーでも、ケガや病気で仕事が続けられなくなったとき、保険に助けられることがあるそうです。生命保険には、病気やケガで入院したときに保障されるもの、働けなくなったときに助けてくれるものなど、さまざまな種類があります。特にダンサーのような職業では、ケガつで長く踊れなくなることもあり、その間は収入がゼロになってしまうこともあるそうです。そんなとき、保険に入っていれば、安心して治療に専念できるし、生活の不安も少し軽くなります。さらに、学校の授業での「職業調べ」ではダンサーは会社員のように安定した給料や保障がないことを知りました。自分で仕事をとって、自分でスケジュールを管理し、そして自分で生活を守る必要がある。そう考えると、保険は「もしも」のときの心の支えになるものだと感じました。

私はこれまで、「夢を叶えること」にばかり目を向けていたけれど、その夢を「続けていくこと」の大切さにも気づき始めました。ダンサーになれたとしても、それがずっと続くとは限らない。ケガや病気、生活の変化、そういった「もしも」にも目を向けておくことが、本当の意味で夢と向き合うことなのかもしれません。夢を見ることが、現実を知ることが、きつとどちらも大切です。私はこれからもダンスを頑張っていきたいと思っています。でも同時に、自分の体を大切にし、将来についてもしっかり考えていきたいです。

生命保険は、すぐに必要になるものではないかもしれないけれど、そういう備えを知っておくことは、夢に向かう私にとって大切な一歩だと思いました。これから先、楽しいことばかりではないかもしれないけれど、ダンサーとして生きていける未来を目指して、努力と準備を続けていきたいです。また、これを自分の知識として心に留め、周りの人にも「生命保険」について知らせたいと思います。

紹介 学校

■福島県
いわき市立植田東中学校

植田東中学校は、いわき市の沿岸部に位置しつつ、周囲は山に囲まれており、自然が豊かでとても静かな環境の中にあります。全校生203名で、明るくのびのびとした学校生活を送っています。

東中といえば、伝統として受け継がれているのが「あいさつ」です。登下校時に校門から車が校地に入ってくる時や出て行くときには、生徒はみな、車の方を向いて会釈をします。お世話になってる先生方や保護者、地域の方々に對する感謝の気持ちを込めて行っています。また、東中は生徒会活動が盛んです。「生徒がつくる東中」をスローガンに掲げ、全校生の手であらゆる活動を運営することを目指しています。生徒会役員が、学校行事の企画・運営の中心となり、体育祭や文化祭では「一人一役」を目標に

全員が何かしらの形で関わり、大成功を収めました。行事などにとっても意欲的に取り組む学校です。

(佐川智恵先生より)



ある日の夜、テレビで流れていたニュースに僕は目を奪われた。高速道路で起きた大きな事故。乗っていた家族全員が亡くなったという。画面には、おもちゃの落ちた車の座席や、ぬれたぬいぐるみが続いていた。『この家族、ついさっきまで笑ってたやろな。』そんなことを思ったとき、胸の奥がきゅつと苦しくなった。

僕はそれまで「死」というものをあまり考えたことがなかった。もちろん、道徳の授業やニュースでは見聞きする。でも、自分には関係のない遠い世界の話のように思っていた。けれど、その日見たニュースは、いつもの日常が一瞬で消えてしまうことがあると教えてくれた。

次の日、たまたま学校で避難訓練があった。地震を想定した訓練だったけれど、先生が言った言葉が心に残っている。「もしもはいつか本当になるかもしれない。」その「もしも」を考えることが不安に備える第一歩なのだと思う。そしてその夜、僕はふと家でこんな質問をした。「うちで保険入ってるん？」母はちょっと驚いた顔をしてから「入ってるよ。いろいろと。なんで？」と聞き返してきた。「いや昨日のニュースで。」と説明すると、母は少し真剣な顔になった。

「保険ってね、何かが起こったときに、心まで守ってくれるわけじゃない。でもお金のことで困らせないようにしてくれる。そういう見えない安心なんやと思う。」母の言葉は、どこか切なくあたたかかった。

そのあと、僕は「生命保険」について本やインターネットを調べてみた。保険料を払うことで、万が一のときに大きなお金が出る仕組み。それは残された家族が生活を続けられるようにするための備えだった。さらに知って驚いたのは、日本ではほとんどの家庭がなんらかの生命保険に入っていること。でも、その内容を理解していない人も多いらしい。

なんとなく思った。保険って「今日を安心して生きるための、未来への約束」なんじゃないか。たとえば、自転車で通学しているとき、いつ誰にぶつかるかわからない。家にいるときでも、地震や火事が起きるかもしれない。そんな「何が起るかわからない毎日」の中で人は少しでも安心してたくて、保険という仕組みをつくったのだろう。

僕は、まだ中学生だし、保険に入ることもできない。でも母がそうしてくれることに、ありがたうと思った。「何も起きないように」と祈る気持ちと「何かあっても大丈夫」という備え。両方がそろって、やっと安心して生きていけるのかもしれない。命の価値は、お金では測れない。だけど、もしものときに助けられるものがあるなら、それを「冷たいもの」だと決めつけたくない。生命保険は大切な人へのやさしい手紙みたいなものだと思う。

「明日、もし自分や家族に何かあったら」それを考えることは、少しこわい。だけど、そのこわさから目をそらさずに、「どう生きたいか」「どう守りたいか」を考えるのが、本当の意味で大人になるといえることなのかもしれない。

僕も、いつか家族を持ったときは、生命保険のことをしっかり考えよう。それはただの契約ではなく、心の中にある「守りたい」という気持ちを形にする方法だから。

紹介 学校

■滋賀県 草津市立草津中学校

本校は県下第2位の人口を有する草津市の中心部にあり、生徒数800人を超える大規模校です。

東海道と中山道の分岐、合流の地として草津宿が発展した、交通の要衝としての歴史や街道文化が感じられる環境が身近に残っています。

最近では、草津市の魅力を再発見し、子ども達が地域へ発信する取り組みを総合的な学習の時間を使って力を入れています。

駅周辺では大型商業施設や高層住宅等が整備されており、生徒数も年々増加するなど、活気あふれる学校です。

(株丹篤史先生より)



これは私がおばあちゃんから聞いた「じいじ」の話だ。私の祖父は会社を経営し、睡眠時間が毎日五時間を切るほど多忙な日々を送っていた。会社のために懸命に働く祖父だったが、「孫のためなら。」と言い、どんなに忙しくても私と遊ぶ時間を大切にしていた。家族の前ではいつも明るい笑顔を絶やさず、その裏に隠された苦しみを誰も知らなかった。

祖父は実はガンを患っていた。最初に肺ガンを発見され、その後の検査で原発不明の末期ガンと診断された。そこから過酷な闘病生活が始まった。入院した祖父を優しく支えた祖母。しかし、会社の経営は大きな打撃を受けた。社長である祖父の不在は収入の激減を招き、混乱が続いた。

そんな中、長男である父が会社を引き継ぎ姉たちも懸命に働きながら家族を支えた。祖父が生きていることが、家族にとって何よりの希望だった。しかし、ガンは容赦なく、祖父の闘病生活は悲しい結末を迎えた。

祖母は深い悲しみの中で、葬儀の手続きや役所の届け出など膨大な事務作業を一人でこなさねばならなかった。精神的にも経済的にも大きな負担のしかかった。そんな中、おばあちゃんに「本の電話がかかってきた。受話器の向こうから落ちていた声で」

「山岸さんのお電話でお間違いないでしょうか。」と聞こえた。それは、保険会社からの連絡だった。おばあちゃんは戸惑いながらも応じた。すると担当者は

「色々とお疲れでしょうが、明日少しお時間をいただけないでしょうか。」と優しく告げた。おばあちゃんは以前から面識があったわけではなかったが、祖父から何かあればこの人に頼るようになっていたのだという。

翌日、指定された場所で担当者とお会った。机には、書類が丁寧に並べられ、担当者はずつくりと説明を始めた。死亡保険金は家族が亡くなった際に受け取れる保険金だと聞いた。

「これは私たちには計り知れない悲しみを背負った遺族の方々を少しでも支えるためのものです。どうか、何かに頼ってください。」その言葉は、全部を一人で抱え込もうとしていたおばあちゃんの心を静かに溶かした。

保険金はやがて私たち遺族の生活の支えとなった。生活費や会社の維持費、葬儀でかさんだ支払いにも充てられた。おばあちゃんは「これがあったから、また前を向けた。」と今でも話す。お金だけでなく「一人じゃない」という安心感も与えてくれたのだ。

今ではおばあちゃんは、朝に庭の花へ水をやり、近所の人と笑顔で挨拶を交わすようになった。時には家族そろって食卓を囲み、「じいじ」の思い出話で笑い合うこともある。もちろん寂しさは消えないが、それでも穏やかな時間を過ごせるようになったのは、あの時、保険金という命綱があったからだと思ふ。

私は病気になるはず、家族と元気に過ごすことが一番の幸せだと思ふ。しかし命には期限があり、それは誰にも分からない。だからこそ、もしもの時のために備えることが大切なのだろう。

生命保険は、もしもの時に家族を守り、これからの暮らしを支える命綱のような存在だ。そのおかげで私たちは安心して日々を過ごし、未来へ歩んでいけると心から感じている。

学校紹介



大阪府 大阪府立咲くやこの花中学校

平成20年4月に大阪市内初の併設型公立中高貫校として開校し、令和4年に大阪府へ移管されました。本校の校名である「咲くやこの花」は、古今和歌集の仮名序で紹介されている「難波津に咲くやこの花 冬ごもり 今は春べと咲くやこの花」の歌に由来しています。また、「咲くやこの花」の名には、この学び舎が、生徒一人ひとりの夢を咲かせる場所となるようにとの願いも込められています。

授業等においては、週2回、7時間授業を実施することにより、基礎学力を充実させています。また、高等学校の学習内容も含む発展的学習も実施しています。さらに、ものづくり(理工)、スポーツ、言語、芸術(美術・デザイン)の4つの分野別学習で、中高の教員が連携しながら専門的な授業を実施し、

生徒の早くから現れる才能を伸ばしています。入学時より興味・関心のある分野を学ぶ生徒たちは、中高6年間を通じて互いに高め合い、励まし合い、競い合うことで、自分の強みや個性を発揮できる専門性を身につけます。

(日野聡美先生より)



「カリン、時間やで、起きなあかんで。」
祖母のこの声とともに私の毎日は始まります。起床して食卓につくと食欲をそそる朝食が用意されています。その脇にはお弁当も。私の毎日の楽しみは中学の昼食時にこのお弁当を開くことです。まるで玉手箱を開けるような感覚でお弁当を開きます。友達へ

「いつもお弁当きれいでおいしそう。」
とほめてくれます。

我が家では海外で働いている母に代わって家事は祖母が担っています。私の身の回りの世話も祖母が全部してくれます。私は祖母が大好きです。そして自慢の祖母なのです。祖母と暮らすこのような日常が当たり前でいつまでも続くものだと思っていました。でもそんな当たり前の日常は突然崩れたのです。

「私、ガンになっちゃった。」

私が中二のときのある日、祖母が家族に知らせました。そういえば数日前、「足の裏にできたホクロが気になるので皮膚科に行ってみる。」と祖母が言っていたのを思い出しました。祖母の話では皮膚科の医院から紹介状をもらって県立がんセンターの診断を受けに行ったとのこと。診断結果は悪性黒色腫でした。

「死なんといて。」

と私は祖母に泣きながら言いました。

「おばあちゃん頑張るから泣かんといて。」

祖母はそう言いました。祖母は手術と術後の治療のため県立がんセンターに三週間入院することになりました。

その日から我が家では大変な毎日が始まりました。料理も洗濯も掃除も祖父と私が分担して行うことになり、私は夕食当番でした。家族は祖母がいかに大変な家事をてきぱきこなしていたかを改めて思い知らされました。

でもそんなことよりもっと大きな変化がありました。それは家が静かで雰囲気も暗くなったことです。家族みんなが祖母の手術と治療がうまくいくかが気になって

言葉が少なくなっていたのです。

当たり前だと思っていた大好きな家族が当たり前前に笑顔で健康に一緒に生活する日常、それは全然当たり前ではなく、本当はいつ崩れるかわからない不安定なもので、どれほど感謝しても足りないものだったかを感じ知らされました。

県立がんセンターは感染予防のため子供の面会は認められていません。

「おばあちゃんの手術、うまくいったで。」

「術後の治療も順調で元気やったで。」

私は面会に行った祖父からそんな祖母の様子を聞くしかありませんでした。そんなとき、「おばあちゃん生命保険に入っていて本当に良かったわ。手術給付金や入院給付金がもらえるから安心して個室に入ることができた。『病院はホテルみたいに快適や。』っておばあちゃんが笑いながら言っていたで。」
と祖父が話してくれました。私は

『生命保険って困ったとき助けてくれるヒーローみたい。』と思いました。

予定通り三週間後に祖母は家に無事戻りました。早期発見だったので抗ガン剤治療などは不要と診断され、家族全員に笑顔が戻りました。

退院から三カ月。元気を取り戻した祖母の希望もあり、また家事を祖母が担うことになりました。もちろん家族も手伝います。祖母のおいしい料理、そしてお弁当も復活です。

きつと「普通」で「当たり前」の日常は奇跡の積み重ねなんだと思います。だから今私は当たり前前の日常に感謝しながら毎日を送っています。家の中の生活だけではありません。友達と笑い合える学校生活の日常にも心から感謝しています。そして我が家のように当たり前前の日常が崩れたときに、当たり前前の生活を取り戻すことをサポートしてくれる生命保険にも感謝しています。

「カリン、時間やで、起きなあかんで。」

今日もまた当たり前前で平凡な、でも感謝に満ちた日常が始まります。

紹介 学校

兵庫県 白陵中学校

白陵中学校は兵庫県高砂市にある私立の男女共学の中学校です。本学園は人本主義の精神に則り、「研究と訓練」「独立不羈」「正明闊達」を校是とします。深遠なる洞察力と高い学識を持ち、事に当たって責任感と勇猛心ある人材たる基礎を養うことを学園創設の本旨としています。

生徒たちは一学年に約200名が在籍していますが、目の行き届いたきめ細かい指導を展開するため、教員1名に対し生徒約12名余りという組織編成を行っています。

これにより、学習面、生活面、その他課外活動に至るまで先生と生徒と保護者のより密接な信頼関係を作り上げています。また、本学園は、山裾の約104,000㎡の広大な敷地を有し、人家の密集地を離れ、緑の山並みと小鳥さえずる林に囲まれた絶好の環境にあります。空気はあくまで清浄、勉学を妨げる騒音もなく、また、四季折々の自然や生物たちの営みを肌で触れあいながら生徒たちは毎日を恵まれた環境で生活しています。

「英才の育成を目的としている」本学園で、生徒たちは勉学に、部活動に、充実した日々を過ごしています。

(山科祐一先生より)



都道府県別応募状況・入賞者数一覧

中学生作文コンクール応募状況一覧						
都道府県	第 61 回		第 62 回		第 63 回	
	応募校数	応募数	応募校数	応募数	応募校数	応募数
北海道	31	533	32	874	27	422
青森県	18	543	17	297	23	378
岩手県	8	82	6	75	4	9
宮城県	14	242	12	66	11	80
秋田県	4	16	9	52	5	28
山形県	3	26	4	151	5	126
福島県	39	557	27	709	26	701
茨城県	12	496	11	311	13	470
栃木県	11	338	11	360	8	342
群馬県	23	395	21	434	15	411
埼玉県	44	489	46	994	41	1,290
千葉県	47	1,523	45	1,356	38	1,484
東京都	52	2,405	54	1,860	46	2,372
神奈川県	17	465	25	626	23	499
新潟県	4	14	4	19	4	12
富山県	20	270	20	356	21	465
石川県	2	10	4	12	3	11
福井県	12	217	9	183	6	108
山梨県	2	7	2	14	2	42
長野県	18	635	20	688	17	274
岐阜県	11	780	10	603	8	396
静岡県	40	1,429	28	1,241	28	913
愛知県	23	1,740	33	1,456	20	1,177
三重県	11	323	9	197	6	50
滋賀県	20	860	27	1,015	26	1,340
京都府	21	593	25	756	15	417
大阪府	22	2,740	19	2,221	24	3,425
兵庫県	21	313	17	331	23	891
奈良県	11	119	9	138	6	98
和歌山県	5	189	7	328	12	301
鳥取県	15	331	13	346	12	463
島根県	3	74	4	84	3	128
岡山県	22	314	17	289	15	268
広島県	24	683	23	1,133	25	917
山口県	18	603	16	495	18	506
徳島県	17	505	11	589	14	711
香川県	6	31	6	41	5	38
愛媛県	15	383	10	171	14	283
高知県	4	68	5	88	9	141
福岡県	29	1,461	28	1,662	25	1,215
佐賀県	10	375	14	597	12	621
長崎県	7	206	6	216	6	362
熊本県	28	1,126	24	1,287	24	1,268
大分県	10	182	6	90	6	108
宮崎県	9	218	7	252	8	320
鹿児島県	20	265	17	182	20	284
沖縄県	10	1,047	9	996	11	821
合 計	813	26,221	779	26,241	733	26,986

2025年度 第63回入賞者数一覧						
全国賞 入賞者数	都道府県別賞					入賞者数 合 計
	1等	2等	3等	佳作		
2	1	3	3	9		18
	1	1	5	10		17
				1		1
				2		2
	1	1		2		4
	1			3		4
1	1	9	4	13		28
	1	2	2	15		20
	1	2		8		11
	1	1	1	12		15
	1	10	4	30		45
	1	9	9	28		47
	1	18	12	68		99
	1	4	2	18		25
				1		1
	1	2		14		17
	1		1			2
	1		1	2		4
		2				2
	1			8		9
	1	2	2	6		11
	1	5	4	32		42
	1	6	7	20		34
		1	1			2
1	1	2	1	39		44
	1		4	6		11
1	1	11	20	87		120
2	1	4	1	25		33
		1		3		4
	1	2		9		12
	1	1	1	16		19
	1		1	3		5
	1	2	1	9		13
	1	2	8	25		36
	1	3	2	12		18
	1	10	5	19		35
				2		2
	1	1	2	6		10
	1		1	3		5
1	1	13	6	34		55
	1	1	3	12		17
	1		3	5		9
	1	5	2	41		49
	1			2		3
	1		3	10		14
	1	3	2	10		16
	1	5	4	17		27
8	40	144	128	697		1,017

都道府県別賞 1等入賞者一覧

都道府県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
北海道	北海道教育大学附属札幌中学校	2	西向 瑛亮	身近な生命保険 その起源を探る
青森県	八戸市立鯉中学校	2	神子澤 天惶	生命保険に込められた祖父の最後の一球
秋田県	秋田大学教育文化学部附属中学校	1	高橋 蘭	命の恩人
山形県	山辺町立山辺中学校	2	佐藤 和	生命保険が守る未来
福島県	西郷村立西郷第一中学校	1	大川原 葉月	備えるという事
茨城県	筑西市立下館中学校	2	戸村 暦花	おばあちゃんのもしもと私の未来
栃木県	栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校	3	石川 歩佳	もしもの先にある安心
群馬県	桐生市立黒保根学園	2	関口 心歩	最後のプレゼント
埼玉県	川越市立南古谷中学校	3	坂本 陽菜	備えあれば憂い少なし
千葉県	芝浦工業大学柏中学校	1	近藤 聡	守られているからチャレンジできる
東京都	三輪田学園中学校	2	水庫 優希	見えない安心に守られて
神奈川県	横浜市立東野中学校	3	河本 彩華	サンタクロースのプレゼント
富山県	高岡市立高岡西部中学校	2	森垣 虹惶	父を知らない僕と、支え合う家族
石川県	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校	2	杉本 賢太郎	生命保険に込められた思い
福井県	勝山市立勝山南部中学校	3	金本 昊大	人生の安心剤
長野県	富士見町立富士見中学校	3	植松 美央莉	感謝
岐阜県	各務原市立桜丘中学校	3	道上 愛己	支えられて、今。ここにいる
静岡県	静岡市立清水第五中学校	3	水野 由袈	突然のできごと
愛知県	名古屋市立神丘中学校	1	富安 柚月	お守りと贈り物
滋賀県	草津市立草津中学校	2	舘 亜珠実	未来のために
京都府	京都市立松原中学校	1	福井 梨央	生命保険は私達の味方
大阪府	大阪市立大正東中学校	2	友寄 結芽	目には見えない優しさ
兵庫県	兵庫県立大学附属中学校	2	新谷 玲乃	生命保険って何ですか？
和歌山県	有田市立有和中学校	2	堀江 萌朱	タスキを受け継ぎ走り続ける
鳥取県	鳥取大学附属中学校	2	黒崎 百花	見えない優しさ
島根県	江津市立青陵中学校	3	植森 香里奈	「備え」の大切さ
岡山県	倉敷市立下津井中学校	3	西川 凜	一番の味方
広島県	広島市立広島中等教育学校	2	山口 希海	日常生活で感じる生命保険の大切さ
山口県	宇部市立川上中学校	2	寺戸 有惟	目に見えない安心
徳島県	鳴門教育大学附属中学校	1	宗田 結音	保険がくれた安心と、ぼくの未来
愛媛県	宇和島市立城北中学校	3	尾崎 晴真	わたしたちのくらしと生命保険
高知県	高知中学校	1	近澤 幹友	会えないままのお別れ
福岡県	東福岡自彊館中学校	1	嶋村 凪紗	家族の絆
佐賀県	佐賀大学教育学部附属中学校	2	伊藤 陽仁	つながる幸せ
長崎県	諫早市立明峰中学校	3	伊藤 陸翔	明日へのお守り
熊本県	熊本市立出水南中学校	2	西原 瑞	「守る」ということ
大分県	別府市立別府西中学校	2	豊田 桜	お母さんと生命保険
宮崎県	鵬翔中学校	2	相良 郁	生命保険の本当の意味
鹿児島県	鹿児島第一中学校	3	永井 桃	祖母と保険と私
沖縄県	西原町立西原中学校	2	城間 創太	祖父からの黄金言葉（くがにくとぅば）

※記載のない県では1等入賞者の該当はありません。

多数応募校一覧

都道府県	学 校 名	応募編数	都道府県	学 校 名	応募編数	都道府県	学 校 名	応募編数
北海道	札幌市立北都中学校	150	東京都	渋谷区立上原中学校	41	鳥取県	鳥取大学附属中学校	105
〃	北海道教育大学附属札幌中学校	52	神奈川県	川崎市立住吉中学校	265	〃	米子市立尚徳中学校	47
〃	旭川市立忠和中学校	40	〃	大和市立つきみ野中学校	125	〃	鳥取市立西中学校	33
〃	札幌市立中の島中学校	36	〃	横浜市立東野中学校	30	島根県	江津市立青陵中学校	113
〃	札幌市立真栄中学校	33	富山県	高岡市立志貴野中学校	117	岡山県	就実中学校	111
青森県	八戸市立欽中学校	91	〃	黒部市立清明中学校	99	〃	岡山市立桑田中学校	57
〃	青森市立横内中学校	51	〃	黒部市立明峰中学校	74	〃	瀬戸市立長船中学校	49
〃	青森市立佃中学校	47	〃	小矢部市立大谷中学校	40	広島県	広島市立祇園東中学校	226
〃	青森市立油川中学校	40	福井県	勝山市立勝山南部中学校	35	〃	広島市立可部中学校	124
〃	五所川原市立五所川原第一中学校	35	〃	北本市立甲陵中学校	39	〃	広島市立大洲中学校	103
宮城県	気仙沼市立陸上中学校	31	長野県	佐久市立野沢中学校	68	〃	広島市立三入中学校	82
山形県	山形市立第四中学校	75	〃	富士見町立富士見中学校	52	〃	福山市立中央中学校	73
福島県	須賀川市立第二中学校	287	〃	小諸市立芦原中学校	44	〃	広島市立広島中等教育学校	72
〃	会津坂下町立坂下中学校	74	岐阜県	各務原市立桜丘中学校	280	〃	広島市立庚午中学校	62
〃	猪苗代町立猪苗代中学校	59	〃	多治見市立笠原中学校	38	〃	福山市立城北中学校	48
〃	福島市立福島第一中学校	51	〃	恵那市立恵那西中学校	33	山口県	周南市立岐陽中学校	107
〃	西郷村立西郷第一中学校	42	静岡県	静岡市立賤機中学校	199	〃	宇部市立川上中学校	104
〃	いわき市立植田東中学校	41	〃	静岡市立蒲原中学校	127	〃	周南市立太華中学校	54
〃	いわき市立玉川中学校	30	〃	宇部市立上宇部中学校	116	〃	宇部市立清水飯田中学校	50
茨城県	古河市立古河第三中学校	167	〃	静岡市立清水第四中学校	95	〃	防府市立佐波中学校	49
〃	取手市立取手第二中学校	76	〃	静岡市立城内中学校	85	〃	下関市立菊川中学校	30
〃	つくば市立豊里中学校	64	〃	小松島市立南中学校	84	徳島県	徳島市立小松島中学校	352
〃	土浦市立土浦第四中学校	53	〃	浜松市立鹿玉中学校	42	〃	阿南市立那賀川中学校	77
〃	筑西市立下館中学校	42	愛知県	滝中学校	201	〃	阿波市立阿波中学校	68
〃	宇都宮市立豊郷中学校	99	〃	豊橋市立東部中学校	186	〃	徳島県立城ノ内中等教育学校	56
〃	宇都宮市立一条中学校	79	〃	豊明市立豊明中学校	162	〃	海陽町立海陽中学校	50
〃	宇都宮市立瑞穂野中学校	76	〃	豊橋市立中部中学校	155	〃	鳴門市立鳴門中学校	42
〃	栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校	39	〃	豊橋市立東陵中学校	151	愛媛県	宇和島市立城北中学校	54
群馬県	前橋市立木瀬中学校	131	〃	名古屋中学校	115	〃	新居浜市立川東中学校	50
〃	みどり市立大間々中学校	124	〃	稲沢市立稲沢西中学校	83	〃	松山市立旭中学校	37
〃	前橋市立元総社中学校	35	〃	刈谷市立雁が音中学校	37	高知県	高知中学校	40
〃	高崎市立倉洲中学校	32	〃	安城市立篠目中学校	30	福岡県	大牟田中学校	190
〃	高崎市立大類中学校	31	三重県	名張市立桔梗が丘中学校	35	〃	福岡市立城香中学校	167
埼玉県	蕨市立第二中学校	219	滋賀県	草津市立草津中学校	263	〃	北九州市立田原中学校	132
〃	川口市立安行中学校	195	〃	新宮町立新宮中学校	229	〃	新宮町立新宮東中学校	123
〃	大宮開成中学校	172	〃	大津市立栗津中学校	205	〃	東福岡自瀧館中学校	114
〃	川越市立南古谷中学校	101	〃	大津市立日吉中学校	113	〃	九州国際大学付属中学校	107
〃	川口市立西中学校	94	〃	大津市立瀬田北中学校	110	〃	大刀洗町立大刀洗中学校	92
〃	越谷市立新栄中学校	94	〃	草津市立玉川中学校	89	〃	福岡教育大学附属福岡中学校	59
〃	さいたま市立城北中学校	72	〃	大津市立瀬田中学校	75	〃	福岡市立高取中学校	54
〃	さいたま市立三橋中学校	50	〃	高島市立湖西中学校	51	〃	柳川市立大和中学校	41
〃	さいたま市立浦和中学校	45	〃	大津市立石山中学校	43	佐賀県	鳥栖市立代中学校	126
〃	川越市立大東中学校	42	京都府	龍谷大学付属平安中学校	244	〃	玄海みらい学園	102
〃	蕨市立第一中学校	41	〃	京都市立峰ヶ岡中学校	57	〃	佐賀県立致遠館中学校	96
千葉県	芝浦工業大学柏中学校	237	〃	京都市立松原中学校	37	〃	みやき町立北茂安中学校	83
〃	柏市立逆井中学校	217	大阪府	大阪市立三国中学校	799	〃	佐賀大学教育学部附属中学校	58
〃	柏市立柏第四中学校	166	〃	大阪明星学園明星中学校	402	〃	佐賀市立川副中学校	53
〃	柏市立大津ヶ丘中学校	104	〃	東大阪市立玉川中学校	362	〃	唐津市立浜玉中学校	50
〃	柏市立松葉中学校	85	〃	豊中市立庄内さくら学園	323	〃	姫路市立姫路中学校	47
〃	柏市立酒井根中学校	85	〃	大阪市立住之江中学校	316	長崎県	五島市立福江中学校	142
〃	習志野市立第四中学校	83	〃	大阪市立天満中学校	268	〃	諫早市立明峰中学校	103
〃	鎌ヶ谷市立第二中学校	68	〃	大阪市立井高野中学校	185	〃	長崎市立深堀中学校	53
〃	柏市立田中学校	60	〃	大阪市立東三国中学校	166	〃	諫早市立長田中学校	50
〃	白井市立桜台中学校	49	〃	大阪市立大正東中学校	120	熊本県	熊本市立出水南中学校	494
〃	東金市立東中学校	46	〃	大阪市立天王寺中学校	113	〃	熊本市立立嶺中学校	169
〃	松戸市立旭町中学校	40	〃	大阪府立咲くやこの花中学校	98	〃	熊本市立鹿南中学校	129
〃	千葉県立葛城中学校	30	〃	河内長野市立西中学校	57	〃	熊本市立白川中学校	107
〃	大網白里市立増穂中学校	30	〃	大阪市立旭東中学校	46	〃	熊本市立北部中学校	51
東京都	世田谷区立砧南中学校	313	〃	大阪市立長吉六反中学校	44	〃	熊本市立清水中学校	44
〃	葛飾区立葛美中学校	310	〃	東大阪市立若江中学校	37	〃	熊本市立峯江中学校	41
〃	安田学園中学校	240	兵庫県	福崎町立福崎東中学校	189	〃	熊本市立龍田中学校	38
〃	国分寺市立第一中学校	202	〃	白陵中学校	161	〃	熊本市立帯山中学校	36
〃	東京都立立川国際中等教育学校	151	〃	三木市立三木中学校	160	〃	熊本市立二岡中学校	36
〃	江東区立第三砂町中学校	134	〃	南あわじ市立三原中学校	70	大分県	別府市立別府西中学校	59
〃	創価中学校	132	〃	兵庫県立大学附属中学校	69	宮崎県	宮崎中学校	214
〃	東京大学教育学部附属中等教育学校	112	〃	姫路市立広畑中学校	54	〃	宮崎学園中学校	60
〃	帝京中学校	109	〃	小野市立小野南中学校	53	鹿児島県	指宿市立山川中学校	60
〃	稲城市立稲城第三中学校	102	〃	小野市立旭丘中学校	32	〃	伊佐市立菱川中学校	51
〃	国分寺市立第四中学校	74	〃	熊本市立立原中学校	50	〃	鹿児島市立紫原中学校	47
〃	京華女子中学校	54	〃	有田市立有和中学校	199	〃	志布志市立有明中学校	34
〃	多摩市立青陵中学校	43	〃	開智中学校	52	沖縄県	西原町立西原中学校	462
〃	世田谷区立瀬田中学校	42	〃	鳥取市立桜ヶ丘中学校	129	〃	浦添市立仲西中学校	174
〃	八王子市立ひよどり山中学校	41	〃	米子市立湊山中学校	111	〃	沖縄尚学高等学校附属中学校	131

※学校名は応募時点の名称
 ※都道府県内は応募数順
 ※多数応募校(30編以上)を記載

北海道

- 3回(S40)・全日本中学校長会賞
旭川市立神居中学校 二学年 幾島 正紀
- 3回(S40)・生命保険協会賞
浜頓別町立浜頓別中学校

三学年 菅原 令子

- 8回(S45)・生命保険協会賞
下川町立夢光中学校 三学年 笹原 幸子
- 10回(S47)・全日本中学校長会賞
伊達市立達南中学校 三学年 矢元 昭一
- 15回(S52)・生命保険文化センター賞
旭川市立豊里中学校 三学年 川口 峰雄
- 16回(S53)・生命保険文化センター賞
旭川市立豊里中学校 一学年 林 厚子
- 21回(S58)・文部大臣奨励賞
釧路市立緑陵中学校 三学年 藤井 由香
- 24回(S61)・全日本中学校長会賞
札幌市立前田中学校 二学年 清野 紀和
- 25回(S62)・全日本中学校長会賞
旭川市立光陽中学校 一学年 山田 仁志
- 31回(H5)・生命保険文化センター賞
旭川市立北門中学校 二学年 高田 絵美
- 35回(H9)・生命保険文化センター賞
旭川市立北門中学校 一学年 上西 雄太
- 36回(H10)・生命保険文化センター賞
砂原町立砂原中学校 二学年 館山 琴絵
- 38回(H12)・生命保険文化センター賞
旭川市立緑が丘中学校

二学年 三輪 翔大

- 38回(H12)・生命保険文化センター賞
七飯町立大沼中学校 三学年 金子 奈保子
- 39回(H13)・文部科学大臣奨励賞
猿払村立拓心中学校 三学年 佐藤 麻美
- 42回(H16)・文部科学大臣奨励賞
猿払村立拓心中学校 三学年 佐藤 元
- 45回(H19)・生命保険文化センター賞
函館市立北中学校 三学年 尾上 琳慧
- 51回(H25)・全日本中学校長会賞
札幌市立柏中学校 二学年 河原 寿賀
- 60回(R4)・優秀賞
北海道教育大学附属札幌中学校

二学年 小路 凜佳

- 61回(R5)・全日本中学校長会賞
藤女子中学校 一学年 前田 海音
- 62回(R6)・生命保険文化センター賞
札幌市立北都中学校 二学年 吉村 美玲
- 63回(R7)・文部科学大臣賞
札幌市立北都中学校 三学年 安達 侑歩
- 63回(R7)・優秀賞
藤女子中学校 三学年 前田 海音

二学年 竹内 光洋

- 17回(S54)・文部大臣奨励賞
むつ市立田名部中学校
- 18回(S55)・生命保険文化センター賞
三沢市立第一中学校 一学年 高橋 久仁子

二学年 高橋 久仁子

全国賞入賞者一覧

(第1回～第63回)
 *敬称略
 *入賞当時の賞名、学校名を記載

- 19回(S56)・生命保険文化センター賞
佐井村立長後中学校 二学年 大石 留美
- 20回(S57)・生命保険文化センター賞
佐井村立長後中学校 三学年 滝本 輝仁
- 27回(H1)・全日本中学校長会賞
むつ市立近川中学校 三学年 畑中 大海
- 30回(H4)・第三回全国高等学校文化センター特別賞
稲垣村立稲垣中学校 三学年 平川 照泰
- 37回(H11)・生命保険文化センター賞
三戸町立三戸中学校 三学年 久保 沙織
- 39回(H13)・生命保険文化センター賞
佐井村立生滝中学校 一学年 横内 彩乃
- 40回(H14)・文部科学大臣奨励賞
三厩村立三厩中学校 二学年 工藤 奈津美
- 41回(H15)・生命保険文化センター賞
弘前市立第三中学校 一学年 土岐 千尋
- 42回(H16)・生命保険文化センター賞
弘前市立第三中学校 三学年 盛 禎央
- 48回(H22)・文部科学大臣奨励賞
弘前学院聖愛中学校 一学年 盛 高
- 50回(H24)・全日本中学校長会賞
弘前学院聖愛中学校 三学年 盛 高
- 50回(H24)・生命保険文化センター賞
五戸町立五戸中学校 三学年 工藤 千尋
- 56回(H30)・優秀賞
藤崎町立明徳中学校 二学年 佐藤 望愛留
- 57回(R1)・全日本中学校長会賞
藤崎町立明徳中学校 三学年 佐藤 望愛留
- 58回(R2)・優秀賞
板柳町立板柳中学校 二学年 成田 侑経

三学年 山本 柑奈

- 7回(S44)・生命保険協会賞
一関市立桜町中学校 三学年 千葉 育男
- 9回(S46)・生命保険協会賞
一関市立桜町中学校 三学年 宮本 貞子
- 28回(H2)・生命保険文化センター賞
一関市立中里中学校 三学年 及川 真枝

三学年 山本 柑奈

- 61回(R5)・優秀賞
三沢市立堀口中学校 三学年 山本 柑奈

宮城県

- 1回(S38)・生命保険協会賞
河南町立鹿又中学校 三学年 渋谷 重子
- 4回(S41)・生命保険協会賞
中田町立宝江中学校 二学年 三浦 磨
- 5回(S42)・生命保険協会賞
中田町立宝江中学校 三学年 安久津 康二
- 32回(H6)・生命保険文化センター賞
松山町立松山中学校 二学年 山田 裕之
- 39回(H13)・生命保険文化センター賞
仙台市立五橋中学校 三学年 木村 恵利香
- 41回(H15)・生命保険文化センター賞
大河原町立大河原中学校

二学年 我妻 聡

- 49回(H23)・文部科学大臣奨励賞
仙台市立入米田中学校 三学年 栗野 紘花

二学年 我妻 聡

- 52回(H26)・全日本中学校長会賞
仙台市立北仙台中学校 三学年 野口 南実
- 55回(H29)・優秀賞
仙台市立七郷中学校 三学年 間宮 遼佳
- 59回(R3)・全日本中学校長会賞
宮城県仙台三華中学校 三学年 福村 眞菜
- 61回(R5)・生命保険文化センター賞
宮城県仙台三華中学校 三学年 今野 花香

秋田県

- 9回(S46)・生命保険協会賞
阿仁町立阿仁合中学校 三学年 中島 睦子
- 10回(S47)・生命保険協会賞
阿仁町立阿仁合中学校 一学年 伊東 裕美
- 18回(S55)・生命保険文化センター賞
秋田市立秋田西中学校 一学年 山崎 香
- 19回(S56)・生命保険文化センター賞
田沢湖町立田沢中学校 一学年 菅原 知佳
- 31回(H5)・生命保険文化センター賞
増田町立増田中学校 二学年 勝田 蘭子
- 46回(H20)・全日本中学校長会賞
横手市立増田中学校 三学年 古関 万倫子
- 54回(H28)・生命保険文化センター賞
湯沢市立皆瀬中学校 一学年 阿部 成美
- 55回(H29)・文部科学大臣賞
横手市立平鹿中学校 二学年 藤田 真理子
- 57回(R1)・優秀賞
秋田大学教育学部附属中学校 二学年 高橋 麗

- 58回(R2)・優秀賞
五城目町立五城目第一中学校 三学年 館岡 寧々
- 61回(R5)・優秀賞
能代市立能代南中学校 二学年 若松 空

山形県

- 5回(S42)・生命保険協会賞
小国町立足中中学校 三学年 栗田 和美
- 8回(S45)・生命保険協会賞
小国町立小国中学校 一学年 遠藤 智子
- 13回(S50)・全日本中学校長会賞
山辺町立山辺中学校 二学年 鈴木 万利子
- 18回(S55)・全日本中学校長会賞
酒田市立平田中学校 三学年 本多 志穂
- 26回(S63)・生命保険文化センター賞
山形市立山形第一中学校 三学年 高橋 希

福島県

- 4回(S41)・生命保険協会賞
鹿島町立鹿島中学校 三学年 大和田 正幸
- 11回(S48)・生命保険協会賞
いわき市立小名浜第二中学校 二学年 小野寺めぐみ
- 33回(H7)・文部大臣奨励賞
浅川町立浅川中学校 三学年 和田 豪
- 34回(H8)・文部大臣奨励賞
浅川町立浅川中学校 一学年 石塚 俊子
- 35回(H9)・全日本中学校長会賞
浅川町立浅川中学校 二学年 緑川 知恵

- 37回(H11)・生命保険文化センター賞
浅川町立浅川中学校 一学年 鈴木 千穂
- 38回(H12)・生命保険文化センター賞
浅川町立浅川中学校 二学年 須藤 佑一
- 39回(H13)・全日本中学校長会賞
浅川町立浅川中学校 二学年 酒井 宏典
- 40回(H14)・生命保険文化センター賞
浅川町立浅川中学校 一学年 田子 里美
- 44回(H18)・全日本中学校長会賞
浅川町立浅川中学校 二学年 鈴木 里穂

- 61回(R5)・優秀賞
福島大学附属中学校 一学年 西形 花璃
- 63回(R7)・優秀賞
いわき市立植田東中学校 三学年 勝 心々絆

茨城県

- 1回(S38)・生命保険協会賞 銅賞
大子町立上小川中学校 三学年 深谷 幸男
- 2回(S39)・生命保険協会賞 銀賞
大子町立上小川中学校 二学年 深谷 京子
- 3回(S40)・文部大臣賞
大子町立上小川中学校 一学年 川野辺 琴美
- 4回(S41)・全日本中学校長会賞
山方町立山方中学校 三学年 堀江 則仁
- 19回(S56)・生命保険文化センター賞
下妻市立東部中学校 三学年 瀬尾 明美
- 24回(S61)・生命保険文化センター賞
水戸市立第四中学校 二学年 中本 夏世
- 29回(H3)・生命保険文化センター賞
関根町立関根中学校 三学年 稲田 美奈子

- 30回(H4)・鑒于恩念生命保険文化センター特賞
土浦市立土浦第六中学校 二学年 山口 瑞穂
- 31回(H5)・生命保険文化センター賞
下館市立下館中学校 一学年 渡邊 優美子
- 35回(H9)・生命保険文化センター賞
水戸市立千波中学校 三学年 綿引 雅子
- 37回(H11)・全日本中学校長会賞
下館市立北中学校 二学年 小島 里紗
- 37回(H11)・生命保険文化センター賞
明野町立明野中学校 一学年 沼口 祥子
- 43回(H17)・全日本中学校長会賞
利根町立利根中学校 二学年 伊藤 綾香
- 44回(H18)・生命保険文化センター賞
北茨城市立中郷中学校 二学年 最上 高督

- 49回(H23)・生命保険文化センター賞
日立市立十五王中学校 二学年 柏原 健人
- 62回(R6)・優秀賞
土浦市立土浦第四中学校 三学年 岡田 陽菜

栃木県

- 2回(S39)・文部大臣賞・生命保険協会賞 金賞
宇都宮市立城山中学校 三学年 柿沼 幸子
- 6回(S43)・生命保険協会賞
南那須村立下江川中学校 三学年 網野 幸子
- 30回(H4)・生命保険文化センター賞
真岡市立大内中学校 三学年 古川 恵子
- 31回(H5)・全日本中学校長会賞
真岡市立大内中学校 三学年 海賀 聖子

東京都

- 3回(S40)・生命保険協会賞
世田谷区立船橋中学校 二学年 山根 きみ子
- 11回(S48)・生命保険協会賞
足立区立第五中学校 一学年 品川 政治
- 22回(S59)・全日本中学校長会賞
千代田区立麴町中学校 一学年 泉田 実菜子
- 23回(S60)・生命保険文化センター賞
千代田区立一橋中学校 二学年 植田 リサ
- 24回(S61)・生命保険文化センター賞
駒沢学園女子中学校 二学年 川路 時子
- 26回(S63)・全日本中学校長会賞
練馬区立大泉中学校 三学年 田中 聖子
- 27回(H1)・生命保険文化センター賞
大田区立田園調布中学校 三学年 鈴木 暁子
- 28回(H2)・生命保険文化センター賞
共立女子中学校 三学年 中島 恵
- 29回(H3)・生命保険文化センター賞
板橋区立向原中学校 二学年 目黒 聡子
- 30回(H4)・生命保険文化センター賞
暁星中学校 二学年 富永 大毅
- 32回(H6)・全日本中学校長会賞
江戸川区立松江第二中学校 一学年 矢作 美樹
- 32回(H6)・生命保険文化センター賞
大田区立蒲田中学校 二学年 高橋 京子
- 34回(H8)・生命保険文化センター賞
筑波大学附属中学校 一学年 柴村 美帆
- 35回(H9)・生命保険文化センター賞
麴町学園女子中学校 三学年 奥村 尚美

群馬県

- 16回(S53)・全日本中学校長会賞
沼田市立沼田中学校 三学年 松井 敏実
- 33回(H7)・生命保険文化センター賞
太田市立旭中学校 三学年 高草木 亜弥

埼玉県

- 13回(S50)・生命保険協会賞
行田市立行田中学校 三学年 荻原 和子
- 17回(S54)・生命保険文化センター賞
川越市立城南中学校 二学年 加島 あずさ
- 19回(S56)・生命保険文化センター賞
熊谷市立玉井中学校 三学年 上石 奈美
- 24回(S61)・全日本中学校長会賞
富士見市立西中学校 二学年 菊地 幸子
- 26回(S63)・生命保険文化センター賞
富士見市立西中学校 三学年 小村 裕次郎
- 27回(H1)・全日本中学校長会賞
東松山市立白山中学校 二学年 高橋 奈緒
- 27回(H1)・生命保険文化センター賞
小川町立西中学校 三学年 田端 美喜

千葉県

- 4回(S41)・生命保険協会賞
市原市立菊間中学校 三学年 須川 亜子
- 6回(S49)・全日本中学校長会賞
清和村立秋元中学校 二学年 地引 富雄
- 20回(S57)・文部大臣奨励賞
館山市立第一中学校 三学年 鈴木 蘭美

千葉県

- 20回(S57)・生命保険文化センター賞
千葉市立高浜中学校 三学年 木村 啓
- 21回(S58)・全日本中学校長会賞
館山市立第一中学校 一学年 鈴木 一将
- 22回(S59)・生命保険文化センター賞
旭市立第二中学校 三学年 石毛 雅絵
- 25回(S62)・生命保険文化センター賞
流山市立常磐松中学校 三学年 重松 建吾
- 27回(H1)・生命保険文化センター賞
千葉市立幕張西中学校 一学年 河内 淳
- 38回(H12)・全日本中学校長会賞
千葉市立末広中学校 三学年 三橋 泰子
- 42回(H16)・全日本中学校長会賞
千倉町立千倉中学校 二学年 青木 優子
- 43回(H17)・生命保険文化センター賞
柏市立中原中学校 三学年 井川 祐紀子
- 48回(H22)・生命保険文化センター賞
芝浦工業大学柏中学校 三学年 今川 安悠美
- 51回(H25)・生命保険文化センター賞
柏市立中原中学校 二学年 森 さやか
- 55回(H29)・優秀賞
柏市立柏中学校 三学年 野口 まえみ
- 57回(R1)・優秀賞
白井市立南山中学校 三学年 薬袋 瑞季
- 57回(R1)・優秀賞
千葉市立緑町中学校 二学年 三浦 悠誠
- 60回(R4)・文部科学大臣賞
印西市立滝野中学校 二学年 下園 たまき
- 60回(R4)・全日本中学校長会賞
いすみ市立大原中学校 一学年 勝見 流々

千葉県

- 60回(R4)・文部科学大臣賞
印西市立滝野中学校 二学年 下園 たまき
- 60回(R4)・全日本中学校長会賞
いすみ市立大原中学校 一学年 勝見 流々

新潟県

- 4回 (S41)・生命保険協会賞
大潟町立大潟町中学校 三学年 阿部 ヒロ子
- 7回 (S44)・全日本中学校長会賞
赤泊村立赤泊中学校 三学年 葛野 恭子
- 15回 (S52)・全日本中学校長会賞
長岡市立大積中学校 三学年 高野 咲子
- 16回 (S53)・生命保険文化センター賞
両津市立北中学校 三学年 森下 淑子
- 18回 (S55)・生命保険文化センター賞
新井市立新井中学校 三学年 藤井 恵子
- 19回 (S56)・文部大臣奨励賞
新井市立新井中学校 三学年 饒村 英子
- 22回 (S59)・全日本中学校長会賞
妙高村立妙高中学校 二学年 飯吉 こずえ
- 22回 (S59)・生命保険文化センター賞
能生町立南中学校 三学年 丸山 ミユキ
- 23回 (S60)・生命保険文化センター賞
能生町立南中学校 二学年 楠 和哉
- 24回 (S61)・生命保険文化センター賞
上越市立城北中学校 一学年 横谷 優美
- 28回 (H2)・全日本中学校長会賞
頸城村立頸城中学校 二学年 万場 理恵子
- 30回 (H4)・全日本中学校長会賞
新井市立新井中学校 三学年 間島 広明
- 33回 (H7)・生命保険文化センター賞
安塚町立安塚中学校 三学年 池田 美香
- 33回 (H7)・生命保険文化センター賞
上越市立直江津中学校 三学年 加藤 晶子
- 34回 (H8)・全日本中学校長会賞
上越市立直江津中学校 三学年 丸山 愛

- 28回 (H2)・生命保険文化センター賞
日本女子大学附属中学校 三学年 古賀 清絵
- 30回 (H4)・生命保険文化センター賞
日本女子大学附属中学校 三学年 米谷 真理
- 34回 (H8)・生命保険文化センター賞
聖園女学院中学校 三学年 米谷 真理
- 36回 (H10)・生命保険文化センター賞
川崎市立中野島中学校 三学年 小堺 健宗
- 43回 (H17)・全日本中学校長会賞
横須賀市立衣笠中学校 三学年 遠入 美穂
- 46回 (H20)・生命保険文化センター賞
横浜市立秋葉中学校 一学年 下川 陽香
- 47回 (H21)・全日本中学校長会賞
横須賀市立常葉中学校 三学年 高木 啓太
- 51回 (H25)・生命保険文化センター賞
茅ヶ崎市立浜須賀中学校 三学年 吾妻 圭
- 51回 (H25)・生命保険文化センター賞
横浜市立老松中学校 一学年 佐々木 萌
- 52回 (H26)・生命保険文化センター賞
鎌倉市立玉繩中学校 三学年 原田 葵
- 52回 (H26)・生命保険文化センター賞
横浜市立老松中学校 二学年 佐々木 萌
- 53回 (H27)・優秀賞
横浜市立市ヶ尾中学校 三学年 中村 珠莉香
- 55回 (H29)・優秀賞
桐蔭学園中学校女子部 三学年 鈴木 華子

- 54回 (H28)・優秀賞
創価中学校 三学年 平野 絵理
- 57回 (R1)・優秀賞
東京都立白鷗高等学校附属中学校 三学年 細貝 愛奈
- 58回 (R2)・生命保険文化センター賞
東京学芸大学附属小金井中学校 一学年 高畑 日奈子
- 58回 (R2)・優秀賞
安田学園中学校 一学年 潮 悠人
- 59回 (R3)・優秀賞
東京大学教育学部附属中等教育学校 一学年 笹川 遙琉
- 60回 (R4)・生命保険文化センター賞
山脇学園中学校 二学年 細貝 桃奈
- 61回 (R5)・優秀賞
東京大学教育学部附属中等教育学校 一学年 蔭山 彩綺

- 36回 (H10)・全日本中学校長会賞
文京区立第六中学校 二学年 山崎 彩
- 37回 (H11)・文部大臣奨励賞
筑波大学附属中学校 一学年 高山 喜博
- 39回 (H13)・全日本中学校長会賞
筑波大学附属中学校 一学年 川本 晃史
- 40回 (H14)・全日本中学校長会賞
筑波大学附属中学校 二学年 宮岸 暖
- 41回 (H15)・全日本中学校長会賞
東京大学教育学部附属中等教育学校 一学年 松原 匠
- 42回 (H16)・生命保険文化センター賞
足立区立第十二中学校 三学年 秋葉 めぐみ
- 42回 (H16)・生命保険文化センター賞
筑波大学附属中学校 三学年 木村 美晴
- 43回 (H17)・生命保険文化センター賞
渋谷教育学園渋谷中学校 三学年 齋藤 友来
- 45回 (H19)・文部科学大臣奨励賞
桜蔭中学校 一学年 岩間 優
- 46回 (H20)・生命保険文化センター賞
安田学園中学校 一学年 中田 一朗太
- 47回 (H21)・生命保険文化センター賞
渋谷教育学園渋谷中学校 三学年 下堂前 奏美
- 49回 (H23)・生命保険文化センター賞
東京大学教育学部附属中等教育学校 一学年 石井 純
- 50回 (H24)・全日本中学校長会賞
筑波大学附属中学校 一学年 田中 英美理
- 52回 (H26)・生命保険文化センター賞
東京都立両国高等学校附属中学校 三学年 三河内 望夢

神奈川県

- 1回 (S38)・生命保険協会賞 銅賞
茅ヶ崎市立松浪中学校 三学年 齋藤 津治子
- 2回 (S39)・生命保険協会賞 銀賞
茅ヶ崎市立梅田中学校 三学年 大高 啓一
- 12回 (S49)・生命保険協会賞
組合立伊勢原中学校 三学年 岡田 るみ
- 15回 (S52)・生命保険文化センター賞
鎌倉市立大船中学校 三学年 当間 健一
- 17回 (S54)・生命保険文化センター賞
鎌倉市立大船中学校 二学年 佐久間 郷子
- 26回 (S63)・全日本中学校長会賞
川崎市立橋中学校 三学年 細井 多

神奈川県

- 54回 (H28)・優秀賞
創価中学校 三学年 平野 絵理
- 57回 (R1)・優秀賞
東京都立白鷗高等学校附属中学校 三学年 細貝 愛奈
- 58回 (R2)・生命保険文化センター賞
東京学芸大学附属小金井中学校 一学年 高畑 日奈子
- 58回 (R2)・優秀賞
安田学園中学校 一学年 潮 悠人
- 59回 (R3)・優秀賞
東京大学教育学部附属中等教育学校 一学年 笹川 遙琉
- 60回 (R4)・生命保険文化センター賞
山脇学園中学校 二学年 細貝 桃奈
- 61回 (R5)・優秀賞
東京大学教育学部附属中等教育学校 一学年 蔭山 彩綺

- 54回 (H28)・優秀賞
信州大学教育学部附属長野中学校 二学年 宮澤 広大

岐阜県

- 3回 (S40)・生命保険協会賞
大垣市立南中学校 三学年 水谷 恵子
- 30回 (H4)・生命保険文化センター賞
大野町立大野中学校 三学年 岡島 佳子
- 40回 (H14)・生命保険文化センター賞
南濃町立養南中学校 二学年 佐藤 公美
- 41回 (H15)・文部科学大臣奨励賞
養老町立高田中学校 三学年 古川 祐莉
- 55回 (H29)・優秀賞
岐阜大学教育学部附属中学校 二学年 廣西 彩乃

静岡県

- 24回 (S61)・生命保険文化センター賞
藤枝市立青島中学校 三学年 小野 恵美里
- 25回 (S62)・生命保険文化センター賞
富士市立田子浦中学校 三学年 鈴木 晃己
- 28回 (H2)・文部大臣奨励賞
富士市立田子浦中学校 三学年 安間 未央
- 31回 (H5)・全日本中学校長会賞
富士市立須津中学校 二学年 半田 万喜
- 32回 (H6)・全日本中学校長会賞
静岡市立豊田中学校 三学年 青木 さやか
- 36回 (H10)・生命保険文化センター賞
磐田市立城山中学校 三学年 松本 菜実

- 56回 (H30)・全日本中学校長会賞
高岡市立高岡西部中学校 二学年 上坂 大空
- 56回 (H30)・優秀賞
高岡市立高岡西部中学校 三学年 高森 駿介
- 62回 (R6)・文部科学大臣賞
黒部市立清明中学校 一学年 村上 慧斗

石川県

- 7回 (S44)・生命保険協会賞
鹿西町立鹿西中学校 三学年 横町 護
- 9回 (S46)・生命保険協会賞
鹿西町立鹿西中学校 二学年 大森 和美
- 11回 (S48)・生命保険協会賞
鹿西町立鹿西中学校 二学年 宮下 美恵子
- 14回 (S51)・生命保険文化センター賞
鹿島町立鹿島中学校 二学年 袋井 ゆかり
- 15回 (S52)・文部大臣奨励賞
松任市立笠間中学校 三学年 三浦 正樹
- 17回 (S54)・生命保険文化センター賞
鹿島町立鹿島中学校 三学年 袋井 也寸子
- 23回 (S60)・全日本中学校長会賞
金沢市立緑中学校 三学年 三浦 早智
- 34回 (H8)・生命保険文化センター賞
金沢市立野田中学校 三学年 奥井 あづさ

福井県

- 20回 (S57)・生命保険協会賞
美山町立美山中学校 三学年 伴 圭子
- 21回 (S58)・生命保険文化センター賞
武生市立武生第三中学校 二学年 吉田 聡志

- 36回 (H10)・生命保険文化センター賞
上越市立直江津中学校 三学年 佐藤 孝浩
- 37回 (H11)・生命保険文化センター賞
上越市立直江津中学校 三学年 佐藤 裕美
- 53回 (H27)・優秀賞
上越教育大学附属中学校 一学年 大山 智
- 59回 (R3)・優秀賞
上越教育大学附属中学校 二学年 坂口 りさ

富山県

- 40回 (H14)・生命保険文化センター賞
大門町大島町中学校組合立大門中学校 二学年 新谷 美野里
- 44回 (H18)・生命保険文化センター賞
高岡市立高陵中学校 二学年 宗田 史永
- 47回 (H21)・文部科学大臣奨励賞
高岡市立高陵中学校 二学年 宗田 千奈
- 47回 (H21)・生命保険文化センター賞
射水市立大門中学校 三学年 金村 和
- 49回 (H23)・生命保険文化センター賞
射水市立大門中学校 二学年 赤尾 英里子
- 50回 (H24)・生命保険文化センター賞
射水市立大門中学校 三学年 山崎 皓平
- 55回 (H29)・全日本中学校長会賞
氷見市立北部中学校 二学年 網 竜之介

•38回(H12)・文部大臣奨励賞
富士市立元吉原中学校
二学年 山崎 翔太

•42回(H16)・生命保険文化センター賞
静岡市立清水第三中学校
二学年 城内 小実

•45回(H19)・生命保険文化センター賞
静岡市立清水第三中学校
一学年 城内 香葉

•47回(H21)・全日本中学校長会賞
静岡市立清水第三中学校
三学年 城内 香葉

•51回(H25)・文部科学大臣奨励賞
静岡市立清水第六中学校
三学年 城内 香葉

•56回(H30)・文部科学大臣賞
静岡市立安東中学校
三学年 百竹 陽奈子

愛知県

•2回(S39)・生命保険協会賞 銅賞
刈谷市立富士松中学校
一学年 神谷 順子

•12回(S49)・全日本中学校長会賞
名古屋市立城山中学校
一学年 大杉 仁代

•27回(H1)・生命保険文化センター賞
刈谷市立朝日中学校
三学年 水野 仁奈

•31回(H5)・文部大臣奨励賞
名古屋市立日比津中学校
三学年 山本 彩子

•32回(H6)・生命保険文化センター賞
日進市立日進西中学校
三学年 鈴木 紗知

•35回(H9)・全日本中学校長会賞
一宮市立中部中学校
三学年 中田 勇人

•36回(H10)・全日本中学校長会賞
碧南市立西端中学校
二学年 鈴木 裕香理

•41回(H15)・生命保険文化センター賞
名古屋市立東星中学校
三学年 松本 純子

•54回(H28)・優秀賞
刈谷市立朝日中学校
三学年 高橋 一夏

•56回(H30)・優秀賞
愛知教育大学附属岡崎中学校
一学年 津村 真緒

•56回(H30)・優秀賞
南山中学校女子部
一学年 武田 佳子

•57回(R1)・優秀賞
刈谷市立朝日中学校
三学年 高橋 聡一

•58回(R2)・全日本中学校長会賞
刈谷市立朝日中学校
三学年 重野 颯吾

•58回(R2)・優秀賞
安城市立篠目中学校
三学年 加藤 あい

•59回(R3)・文部科学大臣賞
豊橋市立東部中学校
三学年 相澤 賢

•62回(R6)・全日本中学校長会賞
安城市立篠目中学校
二学年 増田 早紀

三重県

•3回(S40)・生命保険協会賞
芸濃町立芸濃中学校
三学年 鈴木 洋子

•30回(H4)・文部大臣奨励賞
皇學館中学校
三学年 海津 圭亮

•53回(H27)・生命保険文化センター賞
高田中学校
二学年 高松 宣道

•62回(R6)・優秀賞
近江兄弟社中学校
一学年 中島 ゆず

•63回(R7)・優秀賞
草津市立草津中学校
一学年 奥村 俊亮

京都府

•8回(S45)・文部大臣賞
綾部市立上林中学校
三学年 岩崎 裕子

•15回(S52)・生命保険文化センター賞
京都市立蜂ヶ岡中学校
二学年 渡辺 貴之

•17回(S54)・全日本中学校長会賞
京都市立嘉楽中学校
二学年 永峰 絵里

•18回(S55)・生命保険文化センター賞
八幡市立男山中学校
三学年 永峰 絵里

•21回(S58)・生命保険文化センター賞
京都教育大学教育学部附属京都市中学校
三学年 塩田 親英

•42回(H16)・生命保険文化センター賞
洛南高等学校附属中学校
二学年 中邑 祥吾

•45回(H19)・生命保険文化センター賞
京都女子中学校
一学年 青木 晶子

•48回(H22)・生命保険文化センター賞
京都市立加茂川中学校
一学年 松平 有未

•50回(H24)・生命保険文化センター賞
京都市立加茂川中学校
三学年 松平 有未

•53回(H27)・全日本中学校長会賞
龍谷大学付属平安中学校
一学年 井上 舞

•62回(R6)・優秀賞
京都府立洛北高等学校附属中学校
三学年 藤居 空

大阪府

•4回(S41)・文部大臣賞
大阪市立夕陽丘中学校
一学年 宇野 千鶴

•7回(S44)・生命保険協会賞
堺市立浜寺中学校
一学年 乾 友子

•10回(S47)・生命保険協会賞
東大阪市立英田中学校
一学年 今田 晃一

•14回(S51)・全日本中学校長会賞
東大阪市立盾津中学校
二学年 吉田 尚子

•23回(S60)・生命保険文化センター賞
大阪教育大学教育学部附属平野中学校
一学年 駒川 智永子

•25回(S62)・文部大臣奨励賞
堺市立美木多中学校
三学年 北 佳奈子

•29回(H3)・文部大臣奨励賞
大阪府立盲学校中部
三学年 楠本 友依子

•38回(H12)・全日本中学校長会賞
大阪教育大学教育学部附属平野中学校
三学年 柳原 枝里佳

•51回(H25)・生命保険文化センター賞
吹田市立第一中学校
二学年 山村 千遥

兵庫県

•8回(S45)・生命保険協会賞
出石町立出石中学校
三学年 成田 留美

•20回(S57)・生命保険協会賞
神戸山手女子中学校
三学年 藤原 佐和子

•37回(H11)・全日本中学校長会賞
加西市立加西中学校
二学年 吉田 早織

•48回(H22)・生命保険文化センター賞
三木学園白陵中学校
二学年 玉田 菜那

•49回(H23)・生命保険文化センター賞
三木学園白陵中学校
三学年 玉田 菜那

•50回(H24)・文部科学大臣奨励賞
明石市立大久保北中学校
一学年 玉田 麗

•50回(H24)・生命保険文化センター賞
三木学園白陵中学校
二学年 岩切 一磨

•52回(H26)・生命保険文化センター賞
明石市立大久保北中学校
三学年 三谷 愛香

•59回(R3)・優秀賞
神戸市立神陵台中学校
三学年 藤尾 淳平

奈良県

•63回(R7)・全日本中学校長会賞
白陵中学校
三学年 原田 悠生

•63回(R7)・優秀賞
白陵中学校
三学年 宇都宮 香凛

•62回(R6)・優秀賞
奈良市立平城中学校
二学年 大久保 貴織

•5回(S42)・全日本中学校長会賞
田原本町立田原本中学校
二学年 森川 真知子

•1回(S38)・文部大臣賞、生命保険協会賞
邑法第一中学校
三学年 村川 幸江

•3回(S40)・生命保険協会賞
邑法第一中学校
三学年 山本 高志

•4回(S41)・生命保険協会賞
気高町立気高中学校
二学年 錦戸 吟子

•5回(S42)・生命保険協会賞
気高町立気高中学校
一学年 加藤 玲子

•9回(S46)・全日本中学校長会賞
鳥取市立東中学校
三学年 沢田 昌江

•12回(S49)・生命保険協会賞
邑法第一中学校
三学年 足田 知子

•15回(S52)・全日本中学校長会賞
青谷町立青谷中学校
三学年 伊藤 嘉余子

•20回(S57)・全日本中学校長会賞
青谷町立青谷中学校
一学年 長田 享

•44回(H18)・生命保険文化センター賞
鳥取大学附属中学校
一学年 青木 瑠子

•44回(H18)・生命保険文化センター賞
鳥取大学附属中学校
一学年 青木 瑠子

•44回(H18)・生命保険文化センター賞
鳥取大学附属中学校
一学年 青木 瑠子

•44回(H18)・生命保険文化センター賞
鳥取大学附属中学校
一学年 青木 瑠子

•44回(H18)・生命保険文化センター賞
鳥取大学附属中学校
一学年 青木 瑠子

•44回(H18)・生命保険文化センター賞
鳥取大学附属中学校
一学年 青木 瑠子

•44回(H18)・生命保険文化センター賞
鳥取大学附属中学校
一学年 青木 瑠子

•44回(H18)・生命保険文化センター賞
鳥取大学附属中学校
一学年 青木 瑠子

•44回(H18)・生命保険文化センター賞
鳥取大学附属中学校
一学年 青木 瑠子

•44回(H18)・生命保険文化センター賞
鳥取大学附属中学校
一学年 青木 瑠子

島根県

•6回(S43)・全日本中学校長会賞
大田市立第一中学校
二学年 安立 温子

•9回(S46)・生命保険協会賞
松江市立古江中学校
三学年 井原 洋子

•2回(S39)・生命保険協会賞 銅賞
妹尾町立妹尾中学校
三学年 橋本 由紀子

•2回(S39)・生命保険協会賞 銅賞
妹尾町立妹尾中学校
三学年 橋本 由紀子

広島県

•11回(S48)・生命保険協会賞
西条町立西条中学校
三学年 市地 房江

•34回(H8)・生命保険文化センター賞
広島学院中学校
二学年 佐々木 雄亮

●52回(H26)・文部科学大臣奨励賞
府中町立府中中学校 二学年 冲山 侑子

山口県

●8回(S45)・全日本中学校長会賞
岩国市立北河内中学校大尾分校 二学年 中井 通久
●9回(S46)・全日本中学校長会賞
徳山市立住吉中学校 二学年 久野 典子
●10回(S47)・生命保険協会賞
徳山市立住吉中学校 三学年 久野 典子
●11回(S48)・全日本中学校長会賞
下松市立末武中学校 二学年 河村 美智恵
●12回(S49)・文部大臣賞
徳山市立住吉中学校 三学年 和田 千鶴子
●14回(S51)・生命保険文化センター賞
徳山市立菊川中学校 三学年 小野 聖子
●15回(S52)・生命保険文化センター賞
下松市立下松中学校 二学年 福田 徳子
●15回(S52)・生命保険文化センター賞
鹿野町立鹿野中学校 三学年 宇佐川 公子
●18回(S55)・全日本中学校長会賞
萩市立明経中学校 一学年 佐々木 礼子
●19回(S56)・生命保険文化センター賞
下関市立川中学校 三学年 田村 健治
●20回(S57)・生命保険協会賞
萩市立明経中学校 三学年 佐々木 礼子
●21回(S58)・全日本中学校長会賞
山口大学教育学部附属山口中学校 二学年 馬渡 桜子
●22回(S59)・生命保険文化センター賞
徳山市立秋月中学校 一学年 田所 顕信
●23回(S60)・全日本中学校長会賞
徳山市立周陽中学校 二学年 山中 文

●23回(S60)・生命保険文化センター賞
徳山市立秋月中学校 一学年 江崎 智佳子
●25回(S62)・生命保険文化センター賞
下松市立末武中学校 三学年 宮島 裕加
●26回(S63)・文部大臣奨励賞
下松市立下松中学校 三学年 河村 諤子
●26回(S63)・生命保険文化センター賞
下松市立下松中学校 二学年 小沢 忍
●28回(H2)・生命保険文化センター賞
美東町立美東中学校 三学年 渡辺 悦子
●29回(H3)・生命保険文化センター賞
長門市立通中学校 三学年 磯部 幸代
●37回(H11)・生命保険文化センター賞
長門市立深川中学校 二学年 山田 麻紀子
●60回(R4)・優秀賞
宇部フロンティア大学付属中学校 二学年 白石 悠森

徳島県

●1回(S38)・生命保険協会賞 銅賞
鳴門市立第一中学校 一学年 葉田 恭子
●4回(S41)・全日本中学校長会賞
石井町立石井中学校 二学年 芝田 久美子
●5回(S42)・全日本中学校長会賞
鳴門市立第一中学校 三学年 宝田 奈都美
●7回(S44)・全日本中学校長会賞
徳島市立城東中学校 一学年 村澤 陽子
●9回(S46)・文部大臣賞
鳴門市立大麻中学校 二学年 繁田 とし子
●10回(S47)・生命保険協会賞
東祖谷山村立東祖谷中春秋之瀬校舎 二学年 細谷 史郎

●14回(S51)・全日本中学校長会賞
鳴島町立鳴島東中学校 一学年 後藤田 哲人
●14回(S51)・生命保険文化センター賞
脇町立脇町中学校 二学年 松浦 葉子
●18回(S55)・生命保険文化センター賞
脇町立脇町中学校 二学年 藤岡 清人
●19回(S56)・全日本中学校長会賞
穴吹町立穴吹中学校 一学年 森下 美香
●20回(S57)・全日本中学校長会賞
穴吹町立山口山中学校 三学年 山下 公子
●22回(S59)・文部大臣奨励賞
鳴門市立第一中学校 一学年 本山 明美
●22回(S59)・生命保険文化センター賞
穴吹町立穴吹中学校 一学年 谷奥 恵美子
●29回(H3)・生命保険文化センター賞
脇町立脇町中学校 三学年 野山 好美
●36回(H10)・文部大臣奨励賞
徳島市立南部中学校 三学年 村澤 宏樹
●41回(H15)・生命保険文化センター賞
松茂町立松茂中学校 三学年 西村 悠介
●42回(H16)・全日本中学校長会賞
松茂町立松茂中学校 一学年 吉田 彩
●43回(H17)・文部科学大臣奨励賞
阿南市立新野中学校 二学年 山田 麻祐子
●44回(H18)・全日本中学校長会賞
小松島市立坂野中学校 二学年 豊田 碧
●47回(H21)・生命保険文化センター賞
徳島市立南部中学校 一学年 林 正基
●48回(H22)・生命保険文化センター賞
小松島市小松島中学校 一学年 工藤 あさひ
●54回(H28)・優秀賞
徳島市立南部中学校 一学年 満村 大慎

●57回(R1)・生命保険文化センター賞
小松島市小松島中学校 二学年 秋田 航輝
●60回(R4)・優秀賞
鳴門教育大学附属中学校 二学年 朝日 柊守

香川県

●11回(S48)・全日本中学校長会賞
高松市立紫雲中学校 二学年 岩部 達雄
●13回(S50)・文部大臣賞
高松市立下笠居中学校 三学年 湯谷 みゆき
●14回(S51)・生命保険文化センター賞
高松市立下笠居中学校 三学年 久保 菜穂美
●16回(S53)・文部大臣奨励賞
高松市立玉藻中学校 二学年 野澤 秀樹
●25回(S62)・生命保険文化センター賞
坂出市立東部中学校 二学年 村山 愛
●35回(H9)・文部大臣奨励賞
坂出市立坂出中学校 三学年 豊嶋 瑞穂
●38回(H12)・生命保険文化センター賞
大手前中学校 三学年 鈴木 結梨花
●44回(H18)・文部科学大臣奨励賞
土庄町立土庄中学校 二学年 根本 卓哉

愛媛県

●8回(S45)・生命保険協会賞
新居浜市立中萩中学校 二学年 近藤 尚幸
●14回(S51)・生命保険文化センター賞
松山市立拓南中学校 二学年 阿部 はるみ

●16回(S53)・生命保険文化センター賞
松山市立小野中学校 一学年 奥村 久美子
●21回(S58)・生命保険文化センター賞
松山市立小野中学校 三学年 藤田 由紀
●21回(S58)・生命保険文化センター賞
松山市立小野中学校 三学年 茂川 美穂子
●23回(S60)・文部大臣奨励賞
松山市立小野中学校 二学年 道満 香織
●25回(S62)・生命保険文化センター賞
松山市立小野中学校 二学年 田村 洋子
●26回(S63)・生命保険文化センター賞
松山市立小野中学校 二学年 葛原 悟悦
●30回(H4)・生命保険文化センター賞
松山市立道後中学校 一学年 巽 青空
●32回(H6)・文部大臣奨励賞
新居浜市立北中学校 三学年 佐藤 沙織
●40回(H14)・全日本中学校長会賞
東予市立東中学校 三学年 川又 夕
●43回(H17)・生命保険文化センター賞
新居浜市立別子中学校 三学年 二神 拓也

●39回(H13)・生命保険文化センター賞
吾川村立吾川中学校 二学年 片岡 恵
●46回(H20)・生命保険文化センター賞
高知市立青柳中学校 二学年 沖 大智
●56回(H30)・優秀賞
高知中学校 二学年 本田 恵太
●58回(R2)・文部科学大臣賞
高知中学校 一学年 本田 哲平

福岡県

●5回(S42)・文部大臣賞
柳川市立両開中学校 三学年 古賀 真一郎
●12回(S49)・全日本中学校長会賞
三橋町立三橋中学校 三学年 矢ヶ部 絹江
●12回(S49)・生命保険協会賞
田川市立伊田中学校 二学年 古田 幸代
●13回(S50)・生命保険協会賞
田川市立伊田中学校 三学年 古田 幸代
●27回(H1)・文部大臣奨励賞
吉富町外一市中学校組合立吉富中学校 二学年 森山 裕美子
●45回(H19)・全日本中学校長会賞
北九州市立田原中学校 一学年 古賀 朋代
●47回(H21)・生命保険文化センター賞
北九州市立田原中学校 三学年 古賀 朋代

●51回(H25)・生命保険文化センター賞
福岡教育大学附属久留米中学校 三学年 田中 政充
●53回(H27)・文部科学大臣奨励賞
大野城市立大野中学校 三学年 大塚 奏

佐賀県

●3回(S40)・全日本中学校長会賞
鹿島市立能古見中学校 二学年 松浦 夏江
●5回(S42)・生命保険協会賞
鹿島市立能古見中学校 三学年 森田 敏枝
●6回(S43)・生命保険協会賞
鹿島市立東部中学校 一学年 高尾 小寿恵
●12回(S49)・生命保険協会賞
鹿島市立東部中学校 二学年 倉崎 順子
●13回(S50)・生命保険協会賞
鹿島市立東部中学校 三学年 石橋 春野
●14回(S51)・文部大臣奨励賞
大良町立大浦中学校 三学年 野田 百合子
●16回(S53)・全日本中学校長会賞
大良町立大浦中学校 一学年 今田 ひとみ
●17回(S54)・生命保険文化センター賞
大良町立多良中学校 一学年 新貝 芳典
●20回(S57)・生命保険文化センター賞
山内町立山内中学校 三学年 木須 友子

●57回(R1)・文部科学大臣賞
福岡教育大学附属福岡中学校 一学年 宇野 誠洋
●60回(R4)・優秀賞
糸島市立志摩中学校 二学年 西山 未羽
●61回(R5)・文部科学大臣賞
東福岡自強館中学校 三学年 清武 琳
●63回(R7)・生命保険文化センター賞
太宰府市立太宰府中学校 三学年 青柳 優里菜

長崎県

●16回(S53)・生命保険文化センター賞
郷ノ浦町立武生水中中学校 二学年 竹口 由利子
●18回(S55)・文部大臣奨励賞
郷ノ浦町立武生水中中学校 三学年 村田 浩美
●20回(S57)・生命保険文化センター賞
島原市立第一中学校 一学年 琴岡 憲彦
●21回(S58)・生命保険文化センター賞
島原市立第二中学校 三学年 満尾 史子
●35回(H9)・生命保険文化センター賞
佐世保市立山澄中学校 一学年 野中 麻生

熊本県

●29回(H3)・全日本中学校長会賞
熊本マリスト学園中学校 三学年 上杉 健吾

高知県

●2回(S39)・生命保険協会賞 銅賞
南国市立香長中学校 二学年 北 紀男
●27回(H1)・生命保険文化センター賞
伊野町立伊野中学校 三学年 石黒 陽子
●32回(H6)・生命保険文化センター賞
高知中学校 二学年 桶田 良太郎
●35回(H9)・生命保険文化センター賞
仁淀村立仁淀中学校 三学年 小池 郁江

- 34回 (H8)・全日本中学校長会賞
熊本市立三岡中学校 三学年 近藤 聡子
- 39回 (H13)・生命保険文化センター賞
熊本大学教育学部附属中学校

- 一学年 梅田 佳代子
- 43回 (H17)・生命保険文化センター賞
産山村立産山中学校 一学年 松岡 ひかる
- 45回 (H19)・生命保険文化センター賞
熊本大学教育学部附属中学校

二学年 半藤 偲季

- 48回 (H22)・全日本中学校長会賞

人吉市立第一中学校 三学年 木下 絵莉

- 54回 (H28)・優秀賞

熊本大学教育学部附属中学校

二学年 吉田 博貴

大分県

- 6回 (S43)・文部大臣賞

鶴見町立大島中学校 三学年 神崎 邦文

- 53回 (H27)・優秀賞

竹田市立緑ヶ丘中学校

三学年 長谷 千晴

- 59回 (R3)・優秀賞

大分大学教育学部附属中学校

三学年 玉那覇 峻介

宮崎県

- 20回 (S57)・生命保険文化センター賞

小林市立三松中学校 一学年 深見 ハルミ

- 41回 (H15)・生命保険文化センター賞

宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校

一学年 松本 麗

- 44回 (H18)・生命保険文化センター賞
宮崎大学教育学部附属中学校

三学年 渡辺 理紗子

- 45回 (H19)・全日本中学校長会賞

宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 一学年 牧原 凜子

鹿児島県

- 1回 (S38)・生命保険協会賞 銀賞

大浦町立大浦中学校 二学年 小窪 健治

- 7回 (S44)・生命保険協会賞

垂水市立垂水中学校 二学年 西方 ひとみ

- 9回 (S46)・生命保険協会賞

穎娃町立別府中学校 二学年 坂元 富久男

- 11回 (S48)・生命保険協会賞

川辺町立瀬戸山中学校

一学年 重野 三郎

- 19回 (S56)・全日本中学校長会賞

鹿児島市立河頭中学校

一学年 幸福 いつみ

- 24回 (S61)・文部大臣奨励賞

鹿児島市立河頭中学校 二学年 古野 里美

- 24回 (S61)・生命保険文化センター賞

鹿児島市立河頭中学校

二学年 前園 弘樹

- 25回 (S62)・全日本中学校長会賞

鹿児島市立河頭中学校

二学年 脇 由香

- 26回 (S63)・生命保険文化センター賞

鹿児島市立河頭中学校

二学年 有村 武志

- 30回 (H4)・全日本中学校長会賞

東町立川床中学校 一学年 石橋 知晴

- 33回 (H7)・生命保険文化センター賞
日吉町立日吉中学校 三学年 上口 美鈴

• 38回 (H12)・生命保険文化センター賞
神村学園中等部 三学年 川畑 充世

• 39回 (H13)・生命保険文化センター賞
神村学園中等部 二学年 今吉 彩乃

• 47回 (H21)・生命保険文化センター賞
薩摩川内市立川内南中学校

三学年 高田 知和

三学年 高田 知和

沖縄県

- 54回 (H28)・全日本中学校長会賞

竹富町立船浦中学校 二学年 山口 奏空

- 58回 (R2)・優秀賞

琉球大学教育学部附属中学校

二学年 林 桜生